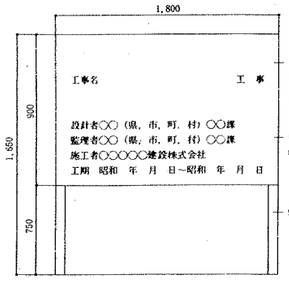
平和団地コミュニティブリッジ新設工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A－1	表紙	—	A－11	階段詳細図・屋外工事詳細図	1:10, 1:20 1:50
A－2	設計仕様書	—	A－12	部分詳細図 (1)	1:20
A－3	特記仕様書	—			
A－4	仕上表・面積表	1:100 1:200			
A－5	現況図・附近見取図	1:500 1:10,000	S－1	杭基礎伏図・ブリッジ伏図	1:100
A－6	仮囲図	1:300	S－2	軸組図	1:100
A－7	平面図	1:100	S－3	基礎配筋図・地中梁断面表	1:40
A－8	立面図	1:100	S－4	柱断面表・大梁断面表・他	1:40
A－9	矛面図	1:100	S－5	詳細図	1:40
A－10	ブリッジ詳細図	1:50	S－6	PC桁詳細図	図示

工　事　仕　様　書

1．建築工事の仕様書は公共住宅建設工事共通仕様書（昭和60年度版）の総則編及び建築編を適用する。
2．共通仕様書のうち，特記によるものと，その他必要な事項を特記事項とする。
3．特記事項を適用するもの。
　(1)　項目は番号に○印のついたものを適用する。
　(2)　特記事項は，◉印のついたものを適用する。
　　◉印をき場合は※印のあるものを適用する。
　　◉印と◉印のある場合は共に適用する。
4．前　金　払
　契約金額 100万円以上の工事にあっては，10分の4を超えない範囲内に限り前金払を請求することができる。
5．部　分　払
　本工事で前金払を行ったものについては部分払は2回，前金払がなされていないものは3回を超えて部分払をすることは出来ないものとする。
6．部分払対象品目
　工事現場に搬入した工事材料のうち次のものは部分払の対象とする。（ただし，監督職員の検査に合格したものであって，確認写真及び出来高等の確認があるものに限る。）
　1．仮設工事　2．土工事　3．地業工事　4．コンクリート工事　5．型枠工事　6．鉄筋工事　7．鉄骨工事　8．コンクリートブロック積み工事　9．防水工事　10．石工事　11．タイル工事　12．木工事　13．金属工事　14．左官工事　15．塗装工事　16．建具ガラス工事　17．内外装工事　18．住宅ユニット，その他工事　19．外構整備工事
7．工事着手から契約完成日の21日先まで天災保険に加入すること。
8．PC構部材については，土木工事共通仕様書と昭和61年度版（建設省土木部）を準拠する。

章	項目	特記事項（総則編）
一般共通事項	① 1．1．2 設計図書	**1節　一般事項** 設計図書の優先順位：現場説明書，特記仕様書，設計図（標準図以外のもの），設計図（標準図），設計書，仕様書
	② 1．3．1 足場・その他 ③ 1．3．4 監督員事務所	**3節　仮設物その他** 2．足場，仮囲，リフトなどの設置：　※建築工事 監督員事務所の規模，仕上げ，備品など：●1号（10㎡程度）●2号（20㎡程度）◉3号（35㎡程度）●4号（65㎡程度）●設けない
	④ 1．3．5 請負者事務所その他	3．表示板の大きさなど（色・書体）：※下図による，位置は監督員の指示による。 
	⑤ 1．6．2 技能士	2．技能士の適用：※する（建築大工，左官，建築塗装，型枠施工，鉄筋組立，防水施工について適用する。）　●しない
	⑥ 1．7．1 記録	**7節　記録** 3．工事記録写真の撮影時期，箇所など　印のものを監督員に提出する。
	⑦ 1．7．2 しゅん工図その他	1．しゅん工図 しゅん工図の提出：※必要　●不要 しゅん工図の種類：※配置図　●屋外給排水図　●全体配置　●平面図　●給排水衛生ガス設備図　●電気設備図 図面作成：●監督員の指示を受け，指定された用紙に書き，原図を提出する。 マイクロフィルム等の提出：※必要　●不要 提出するマイクロフィルム等の内容： 工事完成後，青焼きによる製本1部（全図），焼付マイラーベース（アセテート系），B4版各1部（仕上表，配置図，平面図，立面図，矩計図）及びマイクロフィルム（全図）を提出する。

区分	分類・規格	部数	原板の大きさ（mm）
着工前及び工事中	※モノフロームサービス版 ●カラーサービス版	●1部 ※2部	24×36以上
完成時	※カラー　●キャビネ版 ※サービス版	●1部 ※2部	●24×36以上

※梁，柱，床配筋等の拡大写真は全景を撮影し，拡大写真の位置が確認できるものとする。
※拡大写真は寸法の確認を容易にするため，幅，横，横及び高さの寸法が1枚の写真で判定できるようスケールを添え，明確に撮影する。
※配筋の拡大写真は鉄筋の被覆を確保したのち撮影する。
※部分払い請求の場合，出来形写真（外部2面，内部）を提出すること。
※完成写真は建物及び外構の全景を2面（南東，北東）撮影し，カラー写真（サービス版）を5部提出すること。
※完成写真の室内写真は各室内を全面撮影し，カラー写真（サービス版）を提出する。

章	項目	特記事項（建築編）
①一般事項	① 1．1．2 関連工事との取合い	**1節　一般事項** 建築工事，電気設備工事，機械設備工事などが別契約の場合の工事区分 設備工事との取合 施工範囲 ※鉄筋コンクリート部の貫通孔，開口部の型わく，及びスリーブの補強 ※壁，天井の切込箇所の下地材の補強 ●壁，スラブを貫通するパイプ等のシーリング これらの補強は，標準詳細図などのとおりとし本工事とする。なお，細部については監督員の指示による。
②仮設工事	① 2．2．2 ベンチマーク ② 2．2．4 仮設物その他 ③ 工事用水 ④ 工事用電力 ⑤ 仮設電話 ⑥ 仮囲い，さく囲 ⑦ 保護ネット，シート	**2節　縄張り，やり形，足場その他** ベンチマークの設置方法：※コンクリート杭　●固定物 総則編1章3節による。 構内既存の施設　●利用できる（●有償　●無償）　※利用できない 構内既存の施設　●利用できる（●有償　●無償）　※利用できない ※要　●不要 ※要（図面の箇所）　●不要 ※要（図面の箇所）　●不要 ※要（図面の箇所）　●不要
③土工事	① 3．2．3 埋戻し及び盛土 ② 3．2．6 残土処分	**2節　根切り及び埋戻し** 1．1階床下の盛土：※根切り発生土　●真砂土 地下室などの埋戻し土：　※根切り発生土　●真砂土 残土処分：●監督員と協議し，敷地内に処分　※場外自由処分　●場外指定地処分
④地業工事	① 4．1．1 総則	**1節　一般事項** 4．試験杭：※打込み杭のみ最初の6本は試験杭と兼用 ●図示の　本，L＝　m，φ＝　mm， プレボーリング掘削深さ　GL－　m 試験掘削の適用：　●する　◉しない 載荷試験の適用：　●する　◉しない ⑥ 杭の工法，種別，本数及び寸法並びに設計支持力：　※図面による。
	② 4．2．1 適用範囲 ③ 4．2．4 材料	**2節　打込み杭地業** 低騒音，低振動工法の適用：　◉する　●しない 1．遠心力鉄筋コンクリート杭：　※1種 2．PC杭：　※A種 ③．高強度杭の種類：　◉A種　●C種　図示による。 4．杭の継手：　※1本もの 7．鋼杭の種類：　※2種（STK41）　● (2)　鋼管杭の材質：※2種（STK41）　● (3)　H型鋼杭の材質：※2種（SS41）　●
	④ 4．2．5 杭打ち試験 ⑤ 4．2．6 支持力の算定 ⑥ 4．2．7 工法	8．鋼杭の先端部形状及び補強：※鋼管杭の場合，開放形とし，4．2．1図… 1．試験杭の位置，杭の種類，寸法：●図面による　※監督員の指示によるただし杭種寸法は図面による。 支持力の算定：※昭和46年1月29日建設省告示第111号
	⑦ 4．2．8 継手	(1)　施工法の種類：　●表打工法　◉プレボーリング併用工法 プレボーリングの深さ：　●GL－　m（オーガー径　mm） (2)　ハンマーの種別，容量：※ジーゼルハンマー　●13型　●22型　●25型　●◉油圧ハンマー　●45型　●65型 1．杭の継手の工法：※アーク溶接による溶接継手 5．鋼杭の現場継手の形状：鋼管杭の場合　※4．2．2図及び4．2．2表 ●
	⑧ 4．2．10 施工精度	施工精度：※水平偏心は50mm以内，傾斜は1／100以内
	⑨ 4．3．4 材料	**3節　埋込み杭（セメントミルク工法）地業** 1．杭　材：※4．2．4による 2．セメント：※5．2．1による 1．試験掘削：※最初の6本
	⑩ 4．3．5 試験掘削及び支持地盤の確認	
	⑪ 4．3．6 工法	(1)　施工方法：●
	⑫ 4．3．8 継手	※4．2．8による
	⑬ 4．3．10 施工精度	※4．2．10による
	14 4．4．4 材料その他	**4節　場所打ちコンクリート杭地業** 1．鉄筋 (1)　異形鉄筋の種別：※SD 30　●SD 35 2．コンクリート (1) (2)　水セメント比などの種別：　●A種　●B種 深礎工法の場合の水セメント比などの種別：　●A種　●B種
	15 4．4．6	掘削の工法：　●アースドリル工法　●リバース工法　●オールケーシング工法　●深礎工法 鉄筋の最小かぶり厚さ：
	16 4．5．2 一般事項	**5節　杭の載荷試験** 2．載荷重（最大荷重）　● 載荷方法　● サイクル数　●
	⑰ 4．8．1 材料	**8節　捨てコンクリート地業** 1．コンクリートの種別：　●A種　※B種（135kg／㎠）　5．9．1表 2．コンクリートの厚さ：　※50mm　●
	⑱ 4．9．1 材料	**9節　割り石コンクリート地業** 2．※4．8．1による
⑤コンクリート工事	③ 5．1．2 設計基準強度 ② 5．1．3 コンクリートの製造種別 3 5．1．4 軽量コンクリートの種別	**1節　一般事項** コンクリート（FC）：※210kg／㎠・180kg／㎠　⊙240 製造種別：　※Ⅰ類　●Ⅱ類 軽量コンクリートの種別：　※1種　●2種 所要気乾単位容積重量：　●
	④ 5．2．1 セメント ⑤ 5．2．2 骨材	**2節　材料** セメント：　※普通ポルトランドセメント　●混合セメントのA種 ●早強ポルトランドセメント 2．骨材の品質
	⑥ 5．2．4 混和材料	(6)　細骨材の塩分含有量の限度：　※0.04％wt以下 (7)　細骨材の塩分含有量の測定：　※JASS 5T 202　●建設省技術評価別度により評価された塩分含有量測定器等 ※混和剤はAE剤，AE減水剤標準型，AE減水剤遅延型　● ※(2)混和材は，JIS A 6201（フライアッシュ）　●
	⑦ 5．3．1 所要スランプ 5．3．2 単位セメント量など 9 5．3．4 空気量	**3節　調合一般** 2．所要スランプ値：　※5．3．1表　◉基礎　S＝12cm　上部　S＝15cm 3．混和剤の種類：　※(1)，(2) 防錆剤：　◉使う　●使わない 所要空気量：　※普通コンクリートは4％，軽量コンクリートは5％
	10 5．4．3 レディーミクストコンクリートの呼び強度の選定 11 温度補正	**4節　レディーミクストコンクリート** 1．レディーミクストコンクリートの種別：　※JISA5308の標準品　●特注品　5308 ※要　◉不用
	12 5．8．1 総則 13 5．8．6 養生	**8節　寒中コンクリート** 2．寒中コンクリートの適用：
	14 5．9．2 材料 15 5．9．3 設計基準強度	2．初期養生 (1)　初期養生期間：　※5.8.2表により定め，養生打切りは，5.8.5の1による試験を行って……
	16 5．11．5 塗装，吹付け及び壁紙張り下地	**9節　無筋コンクリート** 1．捨てコンクリート，防水押さえコンクリートの粗骨材の最大寸法：　※25mm 1．設計基準強度：　※5．9．1表の適用箇所に応じたもの **11節　コンクリート仕上げなど** 1．コンクリート面の処置：　※5．11．2表 2．セメント系下地調整塗材（セメントフィラー）の製造所：　※JIS A 6916に適合するもの（製造所の試験結果を提出する）
⑥型枠工事	⑥ 6．2．1 型枠及びせき板	**2節　材料及び構造** 2．せき板の種類：　◉A種　※B種（合板，打放し用）　※C種（合板，塗下用）　6.2.1表 但し，Ⓕ 15mm とする。
	② 6．2．2 組立て	8．打放しコンクリートの出隅部分の面取り材の形状：　●監督員の指示　※図面による
	③ 6．3．1 型枠の取外し	**3節　型枠の存置期間** 2．型枠の最小存置期間：　※6．3．1表及び6．3．2表
⑦鉄筋工事	① 7．1．1 異形鉄筋 2 7．1．2 丸鋼 3 7．1．3 溶接金網	**1節　材料** 異形鉄筋の種別：　※A種（JIS G 3112）　● SD35（D19～D25），SD30（D10～D16） 丸鋼の種別：　※7．1．2表のA種（JIS G 3112）　● 溶接金網の形状，寸法及び鉄線の径：　※図面による
	④ 7．2．1 継手 5 7．2．2 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	**2節　加工及び組立て** 4．鉄筋の継手：　※重ね継手　●ガス圧接（径　19mm以上） 作業者の技能資格，　●NAK1種　※NAK2種　●NAK3種 2．7．2．1表以外で耐久上不利な箇所及びその最小かぶり厚さ：●
	⑥ 付則2－8 柱 ⑦ 付則2－9 ⑧ 付則2－11 壁 ⑨ 付則2－12 床版 ⑩ 付則2－13 階段 11 付則2－14 梁貫通孔の補強	3．帯筋の組立ての形の種別：　※1．2．3 8．継手の定着長さ及び継手長さ：　※L² 5．基準配筋：　※図面による 6．壁開口部の補強：　●A型　●B型　※図面による 1．配筋種別及び厚さ：　※図面による　● 1．型状，寸法及び配筋種別：　※図面による　● 梁貫通孔の補強：　※図面による。既製品は監督職員の承認により使用できる
⑧鉄骨工事	1 8．1．4 施工精度	**1節　一般事項** 施工精度：　※JASS 6付則6（鉄骨工事精度標準）による。
	2 8．2．1 鋼材	**2節　材料** 1．鋼材の材質，JISマーク表示品の指定： 材質　※SS41　●　● 規格　※JIS規格品　●JIS規格適合品（※試験を行う　●試験を行わない）
	3 8．2．2 高力ボルト及び特殊高力ボルト 4 8．2．6 ターンバックル	3．特殊高力ボルト (1)　特殊高力ボルト：　●（　） セットの種類など： 2．頭付きスタッドの製造所： 1．ターンバックルの鋼：　※割枠式
	5 8．5．9 溶接完了後の検査	**5節　溶接接合** 1． (4)　放射線試験，マクロ試験：　※行わない　●行う (5)　突合せ部の検査の適用：　●(イ) (イ)　超音波探傷試験：　●行わない　●行う (ロ)　抜取り率，抜取り方法：　●(i)，(ii)として標準仕様
	6 8．7．2 ボルトの保持及び埋込み 7 8．7．4 柱底ならし仕上げ	**7節　アンカーボルト** 2．ボルトの保持及び埋込み工法：　●A種　※B種　●C種　8．7．1表 3．無収縮モルタルの製造所： 4．ならしモルタル工法：　●A種　※B種　8．7．2表
	8 8．9．2 材料 9 鉄骨加工業者	**9節　軽量形鋼構造** 1．鋼材 (2)　丸鋼：　※A種　●B種　7．1．2表 ●監督員の承認する者　●社団法人全国鉄構工業連合会認定工場
9コンクリートブロック・れんが工事	1 9．1．2 材料	**1節　補強コンクリートブロック積み（帳壁）** 1．ブロックの種類，厚さ： 種類　●B種規格品　※C種規格品 厚さ（mm）　●100　●120　●150　●190
	2 9．1．5 コンクリートの調合 3 9．1．6 配筋	3．鉄筋：　※異形鉄筋のSD30　●SR24　● 2．設計基準強度（Fc）：　※180kg／㎠ 2．各部の配筋 (1)　壁の配筋：　※9．1．4表 (3)　まぐさの配筋：　※9．1．2図及び9．1．3図
	4 9．2．2 材料 5 9．2．3 配筋	**2節　補強コンクリートブロック積み（耐力壁）** ブロックの種類，厚さ（mm）：　●C種150　●C種190 3．各部の配筋 (1)　壁の配筋：　※9．1．4表 (2)　交差部，端部（開口部を含む）の配筋，取合い部：　※9．2．1図 4．まぐさの配筋：　※9．1．2図，9．1．3図
	6 9．3．1 材料	**3節　れんが積み** 普通れんがの種類：（1種）

	7	9．3．3 工　　法	2．れんが積み：（平枚積み）
⑩ 防水工事	1	10．3．2 材　　料	**3節　塗膜防水** 1．上 材：料 主材料の製造所：
	2	10．3．3 工　　法	仕　様：※ゴムウレタン系　㎡当り2㎏以上
	3	保証書及び期間	防水工事の施工については，10年間の保証書を提出すること。ただし，保証は元請業者と施工業者の連署とする。
	④	10．5．2 一　般　事　項	**5節　シーリング材** 1．シーリング材の形状，寸法：　※10×10㎜　◉ちょくせん ポリウレタン系ノンスランプ型，シーリングは　アルミ・心型ニハリコンドライトとする。
	5	10．5．3	3．シーリング用材料の種別，目地寸法：　※10．5．1表のC種 4．接着性試験の適用：
	6	10．5．5 目地の形状及び下地処理	6．バックアップ材，ボンドブレーカー及びマスキングテープ等の形状，材質：　※製造所の仕様 ボンドブレーカーの使用：　※打継ぎ目地，誘発目地並びにサッシ回りは除く
11 石工事	1	11．2．1 材　　料	**2節　テラゾブロック張り** 1．種石の種類，大きさ：　※大理石の類で12㎜以下，花こう岩で6㎜以下…　●
			製造所
			3節　敷石及び階段石
	2	11．3．1 材料その他	1．石の品質：　●1等品　※2等品　●3等品 2．仕上げの種類：　※相磨き　●
			4節　テラゾタイル張り
	3	11．4．1 材　　料	テラゾタイルの種類，形状，寸法：　●300形（　　石）　●400形（　　石）
⑫ タイル工事	1	12．1．2 工法の種別	**1節　一　般　事　項** 工法の種別：　※12．2．5表による
	②	12．2．1 材　　料	**2節　材料・工法** 1．タイルの形状，寸法：　※図面による 2．役物の使用：　※内装タイルの場合は面取り役物を使用
			6．建具枠，設備器具との取合い部，伸縮目地のシーリング用材料：　※10．5．1表のC種 7．張付け用材料：
			(2) 張付けモルタルの保水剤の製造所：
	3	12．2．3 工　　法	伸縮目地　12．2． (1) 伸縮目地の位置：　※異種構造部の取合い部，構造上の要所 (3) 伸縮目地の寸法：※幅10㎜以上×深さ7㎜以上
	④	12．2．4 直　張　り 12．2．5 検　　査	3　タイルの張付けモルタル（プレミックス）の製造所： 6　試験張り，接着力試験，抜取り検査：　●行う　※行なわない。 1　たたきによる検査：　※面積の大小にかかわらず全数行う。
13 木工事	1	13．1．3 木　　材	**1節　一　般　事　項** 2　13.1.1表　樹種及び品等：　※各節の規定　● 13.1.2表　製品規格，化粧薄板，樹種，厚さ：　※ヘムロック，シトカスプールスの無節 ●
	2	13．1．4 取付け用材料及び工法	3　代用樹種の使用：　※監督員の承認があれば13.1.3表の代用樹種を使用できる。 13.1.4表の接着剤の接着剤：　※エポキシ樹脂系のもので，次の(1)，(2)… ●
	3	13．1．6 防　腐　処　理	防腐処理：　●鹿児島県白蟻防除工事仕様書（昭和60年版）に基づく（内装パネルは除く） ●一部行う（内装パネル以外の木材のみ，土壌処理はしない） ●行わない
			白蟻防除工事については，5年間の保証書を提出すること。
			11節　屋根野地，軒回りその他
	4	13．11．1 樹種，品等及び工法	13.11.1表の（注）野地板に合板を用いる場合の材料：　※コンクリート型枠用合板（JASの2種） ●
	①	14．4．1 材　　料	**4節　と　い** 1．といその他の材種　●配管用鋼管　◉硬質塩化ビニル管（VP） ※硬質塩化ビニル管（VU）　14．4．1表
	2	14．4．2 とい受け金物の工法	2．とい受け金物：●亜鉛めっきを行った鋼製とし，14.4.2表及び14.4.3表　※ステンレス製 1．縦どい受け金物の形式：　※7節による。
	③	14．4．3 硬質塩化ビニル管製といの工法	1．継手：　※冷間接合，接着剤を用いる
	4	14．4．4 鋼管製といの工法	2．防　露 (1) 防　露：　※14．4．4表 (2) 保温筒の厚さ：　※20㎜
	5	14．4．7 掃　除　口	掃除口の位置：　●設けない　※設ける（図示）
			5節　軽量鉄骨壁下地
	6	14．5．2 材　　料	2．スタッド，ランナーの種類：　※14.5.1表　●
⑭ 金属工事	7	14．6．1 材　　料	**6節　軽量鉄骨天井下地** 2．野縁などの種類：　※14.6.1表の屋内は19形，屋外は25形　●
			7節　雑　金　物
	8	14．7．1 カーテンレール	カーテンレールの材種及び形状：　※ステンレス鋼(430)C型
	9	14．7．2 タ　ラ　ップ	材料及び工法 1．材料の種別：　※ステンレス(304)19φ 2．表面処理の種別：　※14.2.1表のA類及び14.2.2表のB種
	10	14．7．4 ノンスリップ	1．材種，形状，寸法：　※図面による
	11	14．7．5 床用目地棒	材質，寸法，形状，施工箇所：※図面による
	12	14．7．6 コーナビード	
	⑬	14．7．8 銘名札，掲示板及びその他	その他雑金物

品　目	材　質	形　状	寸法など
※ルーフドレイン	タール機付	モルタル防水用 ポール型	図面による
※ルーフドレイン バルコニー中継用	〃	モルタル防水用 従型穴あきポール	〃
※軒樋受金物	ステンレス 304	厚3・幅幅30 L字はば	〃
※縦樋つかみ金物	〃	厚3・幅幅30 足ツバ付	〃　E－326
※塔屋タラップ	※白ガス管・鉄筋・亜鉛メッキ●ステンレス304	上部R付ハシゴ	〃　E－347
※屋上点検口ふた	※ステンレス 304 処理鋼板	角型ア2㎜	500×500又は 〃　錠付
●屋上点検口ふた			500×500 錠付
●避難マンホール	天蓋ステンレス 304 外箱鋼板	丸型ア 1.5㎜ 下蓋付	〃
●避難ハッチ	天蓋・枠ステンレス304 他鋼板	国家検定合格品	〃 500×500
●丸　環	ステンレス 304	内径 100・丸鋼19	
※物 干 掛	アルミ製	固定型・自在型 図面による	図面による E－310・E－311
※バルコニー仕切	枠アルミ製 板フレキシブルボード4	板・VP塗	E－310・E－210
※避難表示プレート	アルミ箔		H 150・W 400又は図面による
※クーラー用インサート (室外用)	ステンレス 430	スライドインサート 10㎜ボルト	
※クーラー用インサート (室内用)	クロームメッキ	箱形インサート 10㎜ボルト	
※掲 示 板	枠アルミ 合板ラシャ張又はOP塗		※図面による E－364
●黒　板	枠アルミ ホワイトボード		図面による
※階数表示板	プラスチック	S-K601型ビス止め	120φ
※室 名 札	〃	SK602型－P型	270×130　E－356
※流 し 台 水切カバー	ステンレス 304	図面による	図面による
●浴室スノコ	合成樹脂		280×280
※タオル掛	ステンレス 430		19φ　ℓ＝600 19φ　ℓ＝450
●タオル掛	〃		12.7φ　ℓ＝600 12.7φ　ℓ＝450
※クーラー用スリーブ	樹　脂	SU－100 キャップ2個付	100・75 図面による
※電話用スリーブ	〃	VE－16 キャップ2個付	
※丸型レジスター	〃	BL部品 VU・レジスター・防水ガラリ	107・125 図面による
※角型レジスター	〃	角型レジスター・ガラリ フック棒	150×200
※換気パイプ類	〃	L.P.A.Eの組み合せ 図面による	図面による E－335
※枠　類	※プレキャストコンクリート ●木　枠	換気層 バランス釜用枠	図面による E－343
※床下換気孔	●鋳鉄●グレーチング ●G.R.C　●樹脂		図面による E－330
※棟番号(中層用)	※図面による		図面による

	①	15．2．1 材　　料	**2節　モルタル塗り** 4．塩分含有量：　※0.04%以下　●
	②	15．2．4 防水モルタル塗り	6．保水剤は，12.2.1の7の2による。 2．防水剤の製造所：　石素産業KK（石素），KK日本セメント防水剤製造所（ウォータイトB号） ベストンKK（ベストンB），マグナ工業KK（マグナー液3号），KKマノール（マノール防水剤），KKイノウエボンド（新ジストン），大阪防水，KK小野田セメント（小野田NN），
⑮ 左官工事	3	保証書及び期間	屋根防水コンクリート及び防水モルタル塗りについては，10年間の保証書を提出すること。 ただし保証は元請業社とする。
	④	15．4．2 下　地　処　置	**4節　仕上塗材仕上** 3．補修シーリング用材料：　●A種　●B種　※C種　●D種　●E種　10.5.1表
	⑤	15．4．5 複層仕上塗材 (吹付けタイル)	2．材　料 種　別：　●E　◉REC　●CEC　15．7．8表 (しゅめんれんが)
	6	15．4．6 軽量骨材吹付材 吹　　付	(1) 種　別：　※パーライト　●バキュームライト (2) 吹付け厚さ：　※吹付け厚さ5㎜ (3) 結合材：　●セメント系　●樹脂材系　※合成樹脂エマルジョン系
⑯ 塗装工事	1	16．5．1 塗　り　工　程	**5節　クリヤラッカー塗り(L.C塗り)** 塗り工程：　●A種　※B種　16．5．1表
	2	16．7．2 溶剤形ビニル系塗料塗り	**7節　溶剤形樹脂系塗料塗り(V.E塗り，A.E塗り)** 2．塩化ビニル樹脂エナメル：　※JIS K5582の1種(屋内)　●2種(屋外)　●3種(耐薬品用)
	③	16．10．1 材　　料	**10節　有光沢合成樹脂エマルションペイント塗り(G.P塗り)** 材料の製造所：
	4	16．11．3 塗り工程など	**11節　マスチック塗材ローラ塗り** 1．
	⑤	16 その他	1．ウレタンクリヤー塗（ポリウレタン樹脂系4） 日本ペイント　ラッカーパテ　ポ密ラッシュ上。

種　別	●A種	●B種	●C種
工程3の仕上材の種類	●溶剤形	●エマルジョン形	
凸 面 処 理	●凸面処理をする	●しない	

17 建具・ガラス工事	1	17．1．2 防　火　戸	防火戸の指定：
	2	17．2．1 一　般　事　項	**2節　金属製建具** **(鋼製建具・アルミニウム合金製建具・ステンレス製建具)** 1．金属建具：（BL部品）
			(1) 玄関ドアの種別：●A型　●B型　●C型（●普通枠　●気密枠）
			(2) パイプシャフトドアの種別：
			(3) アルミサッシの種別：●A型　●B型　●C型（強度　※280・200㎏/㎡）
			(4) ステンレスサッシの種別：
			2．BL部品以外の場合の材質，形状，寸法及び性能：　※図面による。
		網　　戸	網戸の材質：※合成樹脂網　●ステンレス網
	3	17．3．1 一　般　事　項	**3節　木製建具** 1．内装ドア：　※BL部品 (1) 木製フラッシュ戸の形状，寸法及び表面仕上げ：　●　　●
			(2) 木製かまち戸の形状，寸法及び表面仕上げ：　●　　●
			2．内装ドア(BL部品以外)：　※図面による。
	4	17．3．4 紙張り障子	1．用材の樹種：
	5	17．3．5 ふ　す　ま	1．周囲縁の仕上げ：　●A種　●B種　●C種　●D種　※E種 周囲骨の寸法：　※16.5×21（㎜） 中骨の縦子の寸法：　※12×13.5（㎜） 引手受，横子の寸法：※12×13.5　中3本（中1本は引き手上）は21×13.5（㎜） 引手受板の寸法：　※板厚13.5（㎜）
			5節　建具用金物
	6	17．5．1 一　般　事　項	2．丁番の寸法：　※図面による。 3．マスターキーの製作：　※必要　●不用
	7	17．5．2 種類，材質仕上げ及び寸法	(1) サムターン付シリンダー面付箱錠：　※BL部品 (2) ドアクローザ：　※BL部品 ドアクローザの区分：　●I型　※II型 (3) BL部品以外の場合の種別，形状及び寸法：　※図面による
			6節　ガ　ラ　ス
		17．6．1 材　　料	1．ガラスの種別及び厚さ：　※図面による。 2．
			(1) ガスケットの種別：　※JIS A 5756（建築用ガスケット）の塩化ビニル系
		ガラス押えシーリング	(3) パテの材料：（17．6．2表） 1．シーリング材：　※10．5．1表
18 内外装工事	1	18．1．1 材　　料	**2節　屋根葺材** 製造所：　1
			種　別：
			工　法：※製作所の仕様
	2	18．3．1 材　　料	**3節　量　数　き** 1．畳の種別：　●A種　●B種　※C種　●D種　●E種
			2．　18．3．1表
	3	完成後の義務	(2) 防虫加工紙の規格：　※18．3．2表 義務：　※完成検査から1年以内に畳ダニ等発生した場合は直ちに駆滅処理する。
	4	18．4．1 材　　料	**4節　フローリングボード張り** 2．樹種，等級，寸法：　※18．4．1表
	5	18．4．2 工　　法	4．塗　装：　※オイルステイン着色のうえワックス塗り
	6	18．5．1 材　　料	**5節　天然木化粧複合フローリング張り** 1．種　別：　※図面による。
			6節　ビニル床シート張り
	7	18．6．1 材　　料	1．種別色柄等：　●1種　●2種　※3種　●4種

種　別	種　類	色　柄
ビニル床シート　※住宅用 ●一般用	●種　●2種　※3種　●4種	※無　地 ●模　様

	8	18．6．2 工　　法	4．熱溶接工法の適用：※行う　●行わない
	9	18．9．1 材　　料	**9節　石こうボード，その他のボード及び合板張り** 3．普通合板の樹種：　※ラワン又は国内産，品等は18．9．2表 4．特殊加工化粧合板　品種，品等：　※図面による 5．難燃合板
			(4) 樹種：　※透明塗料塗りは南方産樹種製材，不透明塗料塗りはしない
			6．化粧石こうボードの止付け：　※図面による
	10	18．10．1 材　　料	**10節　壁　紙　張　り** 1．壁紙の品質：　※図面及び監督職員の指示 2．接着剤：　※酢酸ビニル系エマルション
	11	18．13．2 材　　料	**13節　断熱及び防露工法** 材料の厚さ：　※図面による (1) ポリスチレンフォームボードの種類：　※JIS A 9511 B類2種 (6) グラスウールマットの区分：　※外被区分はV (7) ポリエチレンフィルム：　※1種（厚さ0.15㎜）重ね巾：躯構共250㎜以上
	12	18．14．1 一　般　事　項	**14節　床下パネル** 1．床下パネル：　●BL部品 2．種別，性能：
			15節　内装プレハブ工法
	13	18．15．1 適用範囲	2．BL内装システムの適用：　●使用する　※使用しない
	14	18．15．3 材　　料	7．金属材料 (3) 鋼板の表面処理：　※JIS H 8610の2種3級　●
	15	18．15．4 製作，組立て及び工法	製造所：
19 仕上げユニット・その他工事	1	19．1．1 浴室ユニット	**1節　部品ユニット** 1．浴室ユニットの製造所：　※BL部品 2．型状寸法

タイプ	呼　称		
※ A	※1116	●1117	●1216
● B	●1116	●1117	●1216

	2	浴室ユニット 散水試験	試験の適用：　※全数する　●一部する　●しない
	3	19．1．2 キッチン キャビネット 吊　戸　棚	1．キッチンキャビネット：　※BL部品 (1) 種　類：　※A－I　●A－II　●B－1 (2) 形状，寸法：　※図面による (3) 付属部品：　※バックガード（ステンレス，304）　※水切プレート（ステンレス 304）
			(4) BL部品以外の場合の種別，形状，寸法，材質：
	4	19．1．3 キッチンユニット	1．キッチンユニット：　※BL部品 (1) 種　類：
			(2) 形状，寸法：　※図面による (3) 付属部品：
			(4) BL部品以外の場合の種別，形状，寸法，付属品等：
	5	19．1．4 収納ユニット	1．収納ユニット：　※BL部品 (1) 種　類：
			(2) 形状，寸法：　※図面による (3) 付属部品：
			(4) BL部品以外の場合の種類，形状，寸法，付属品等：　※図面による
	⑥	19．1．5 手すりユニット	1．手すりユニット：　※BL部品 (1) 種　別：　※バルコニー用　※窓用　◉廊下用 (2) 材　質：　※アルミニューム合金製　◉図面による
			(3) 形状，寸法：　※図面による (4) 支持方式：　※図面による
			(5) BL部品以外の場合の種類，形状，寸法，支持方法：図示による
	7	19．1．6 郵便受箱	1．郵便受箱：　※BL部品 (1) 種　類：　※A型ステンレス鋼
			(2) BL部品以外の場合の材質，種別：
	8	19．1．7 そ　の　他	1．浴　槽：　※BL製品FRP　寸法図面による 2．バランス釜：　※BL製品I型，ケーシングステンレス304， シャワー付は図面による

鹿児島県土木部住宅課・鹿児島県住宅行政連絡協議会製作

構造概要

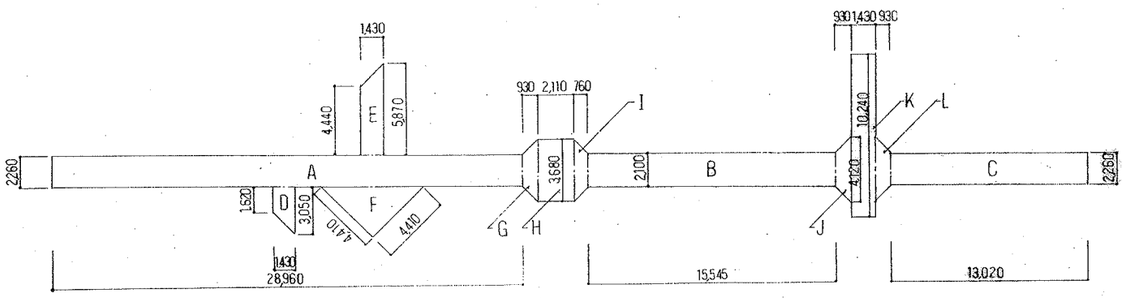
基礎：杭基礎	壁：鉄筋コンクリート造	床：鉄筋コンクリート造 一部 PC造	柱脚部：鉄筋コンクリート造	

仕上表

	床	巾木	手摺	柱脚部	スラブ下	備考
階段 A	踏面：磁器質タイル貼 200×100 蹴上：〃 100×100程 ケラバ：〃 100×100	コンクリート打放シ H=120	コンクリート打放シの上 吸付タイル	コンクリート打放シの上 吸付タイル	コンクリート打放シの上 GP	出隅金属手摺付
〃 B	踏面： 蹴上： ケラバ：全上	全上	全上	全上	全上	全上
ブリッジ A	磁器質タイル貼 100×100. 一部(300×100 300×150 300×300)面取り	全上	全上 一部打放シの上ウレタンクリアー塗	コンクリート打放シの上 ウレタンクリアー塗	コンクリート打放シの上 GP 一部ウレタンクリアー塗	金属手摺（手摺 B-1. B-2. C-1）
〃 B	全上	全上	全上 一部打放シの上ウレタンクリアー塗	全上	全上	
PC橋	全上	コンクリート打放シの上 ウレタンクリアー塗	――	――	コンクリート打放シの上 ウレタンクリアー塗	金属手摺（手摺 A）
接続部 A	防水モルタル塗 ⓟ40	コンクリート打放シ	出側：コンクリート打放シの上吸付タイル 天端：〃 石押えの上 吸付タイル 入側：コンクリート打放シの上 出入口	――	コンクリート打放シの上 GP	
〃 B	全上	全上	全上	コンクリート打放シの上 ウレタンクリアー塗	全上	金属手摺（手摺 C-2）
〃 C	全上	全上	全上	全上	全上	全上 （手摺 C-2）
〃 D	全上	全上	全上	――	全上	全上 （手摺 D）

雨樋：VP75　呼径：VP65
掴金物：ステンレス @240

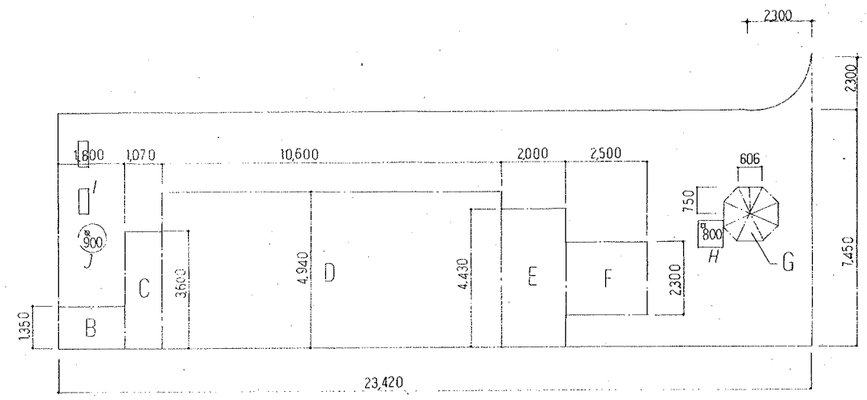
面積表



A = 2.260 × 28.960 = 65.4496
B = 2.100 × 15.545 = 32.6445
C = 2.260 × 13.020 = 29.4252
D = (1.620 + 3.050) × 1.430 × 1/2 = 3.332815
E = (4.440 + 5.870) × 1.430 × 1/2 = 7.37165
F = 4.410 × 4.410 × 1/2 = 9.72405
G = (2.260 + 3.680) × 0.930 × 1/2 = 2.7621
H = 3.680 × 2.110 = 7.7648
I = (3.680 + 2.100) × 760 × 1/2 = 2.1964
J = (2.100 + 4.120) × 930 × 1/2 = 2.8923
K = 10.240 × 1.430 = 14.6432
L = (4.120 + 2.260) × 930 × 1/2 = 2.9667

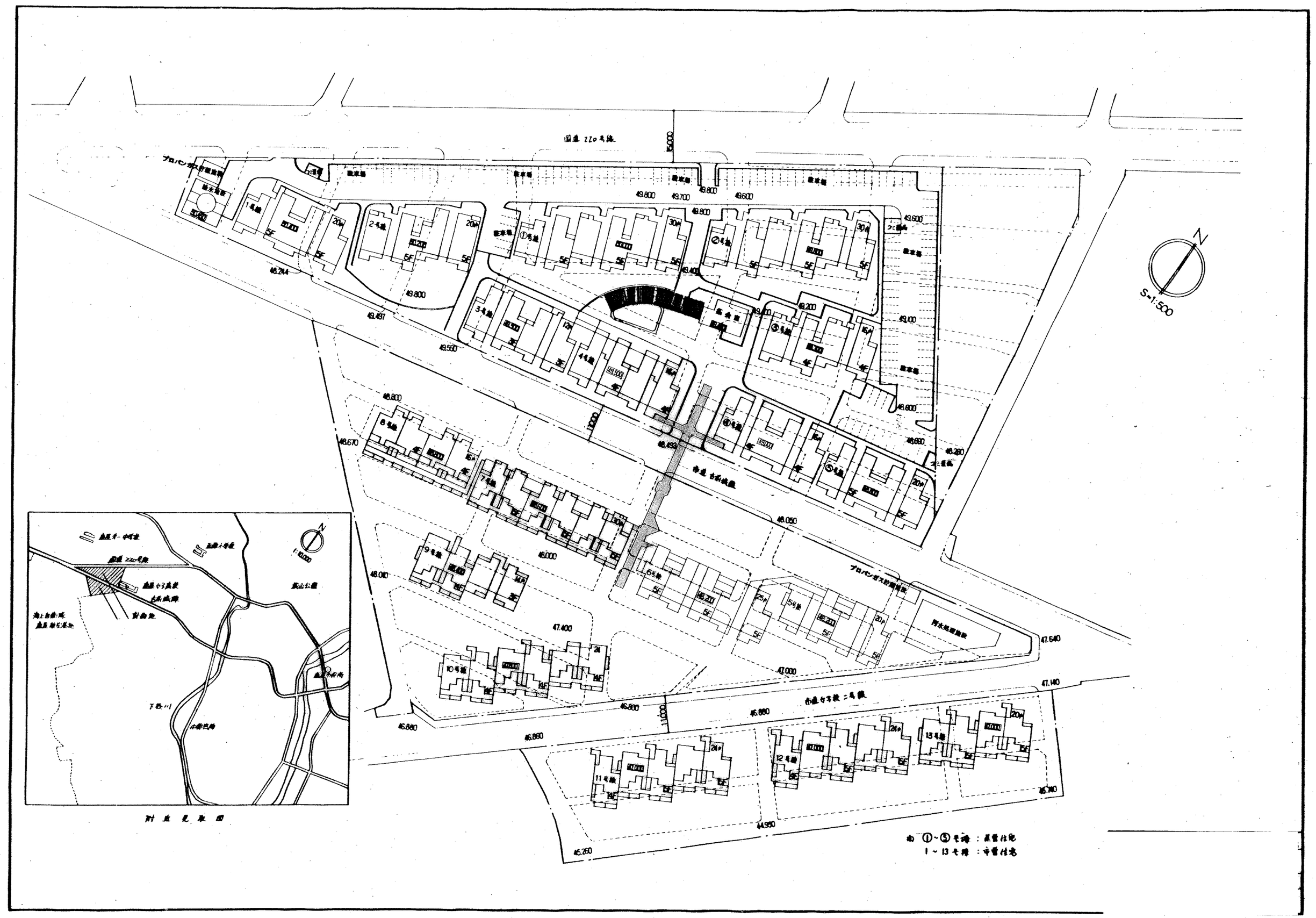
A+B+C+D+E+F+G+H+I+J+K+L
= 181.37331
コミュニティブリッジ床面積 181.37

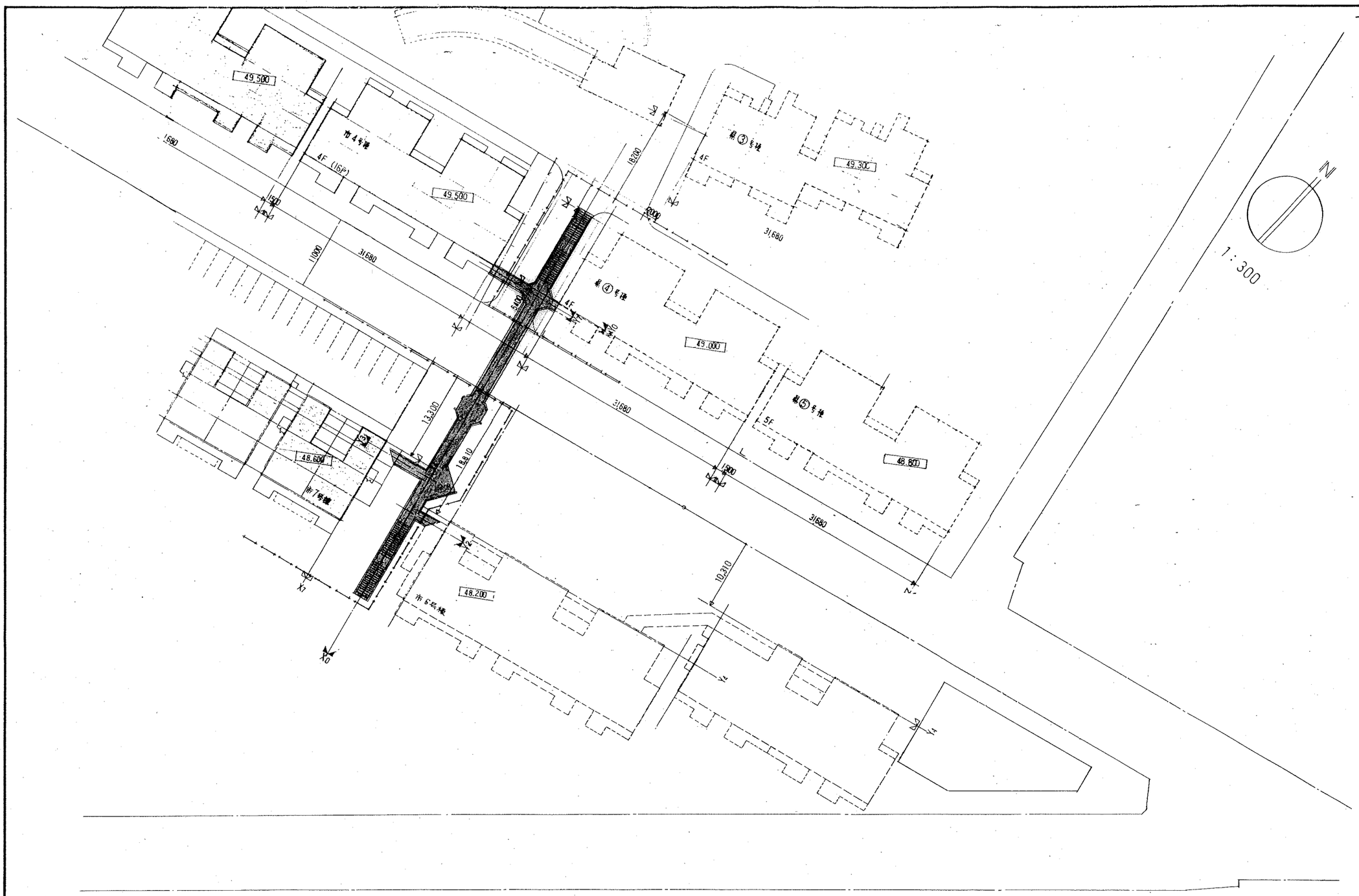
面積計算表（コンクリート平板アロック舗装）



A = 7.45 × 22.75 = 169.488 + {(0.3 × 2.3) − (2.3 × 2.3 × 3.14 × 1/4)} = 170.624
B = 1.35 × 1.80 = 2.43
C = 3.60 × 1.07 = 3.852
D = 4.94 × 10.60 = 52.364
E = 4.43 × 2.00 = 8.86
F = 2.3 × 2.50 = 5.75
G = {(0.75 × 0.606) × 1/2} × 8 = 1.818
H = 0.8 × 0.8 = 0.64
I = 0.3 × 0.8 × 2 = 0.48
J = 0.45 × 0.45 × 3.14 = 0.636

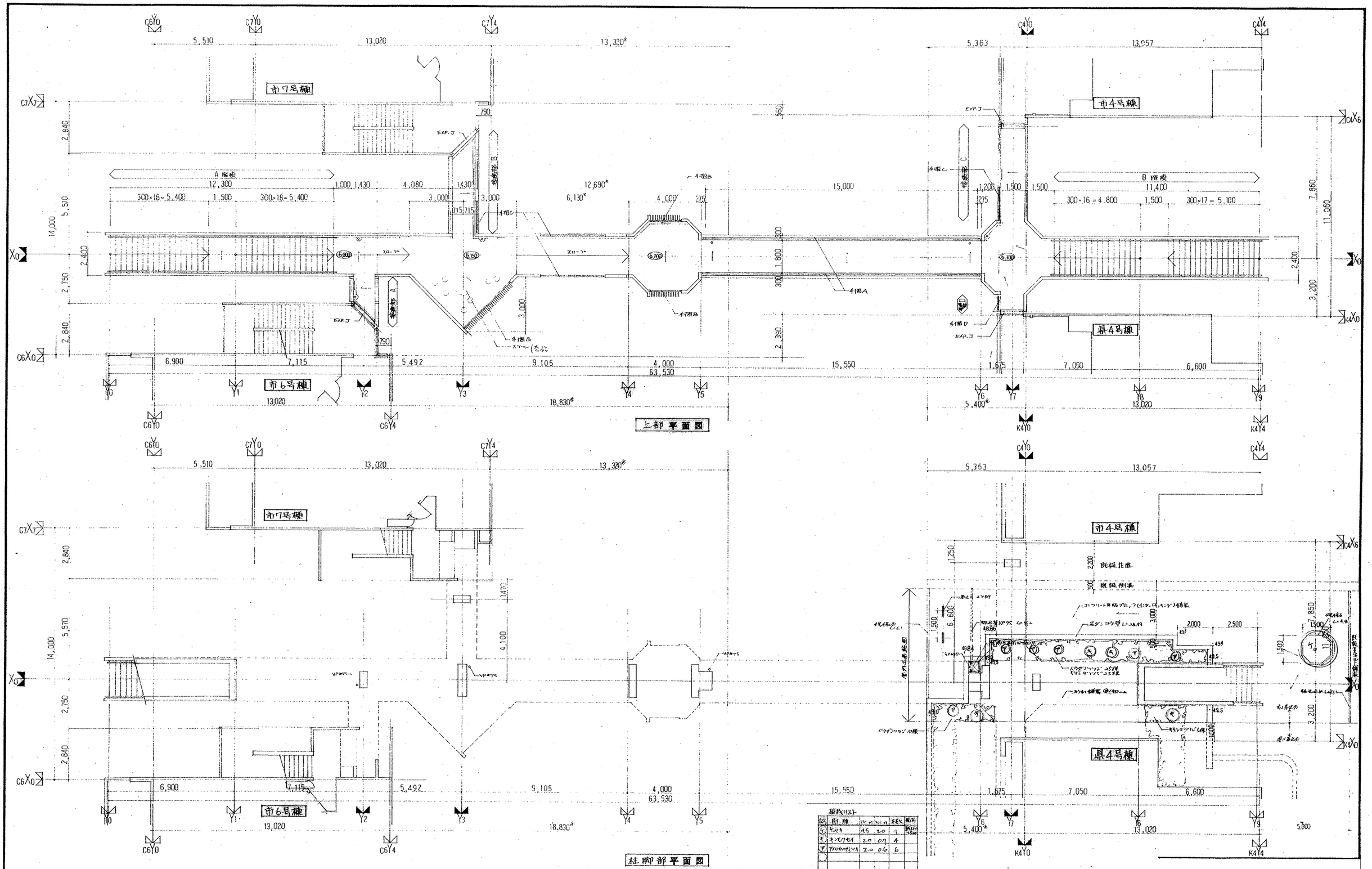
S = A − (B + C + D + E + F + G + H + I + J)
= 93.79


S=1:500
N
駐車場
1号棟
2号棟
3号棟
4号棟
5号棟
6号棟
7号棟
8号棟
9号棟
10号棟
11号棟
12号棟
13号棟
①号棟
②号棟
③号棟
④号棟
⑤号棟
49.800
49.700
49.600
49.400
49.200
49.100
49.000
48.800
48.670
48.493
48.050
48.000
47.400
47.640
47.140
46.860
46.280
45.960
45.260
15000
1000
1:10,000
附近見取図
凡例 ①~⑤号棟：基管住宅
1~13号棟：市管住宅



註) ▬▬ は仮囲の位置を示す。
▩ は本工事本体工事範囲を示す。
▭ は 〃 屋外 〃 〃

北側ブロック仮囲については、県④号棟施工業者、南側ブロック仮囲については 市7号棟施工業者と協議の上、現場監督員の承認を得て、施工を行うこと。



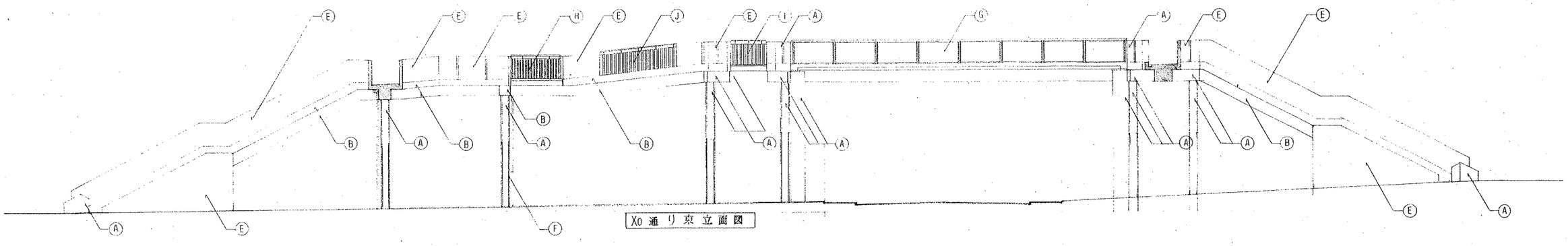
注): ◯ はエリアごとレベル正面 (正のからの寸法表示 Z=480)
※印の寸法は現場確認を行い、現場監督員と協議の上 ※印の寸法にて調整を行うこと。

・ 各接続部のEXP.J 及び既設建物との取合の補修等は本工事に含む。
・ 既設施設(給水ガス 汚水等の蓋例, 外壁, 溝ぶた, 花デン, 便溝, 道路補装)等 本工事との取合が出る場合には, 現場監督員と協議の上 施工すること。 但し, 復補等を必要とする場合 ドロ, 現場監督員の承認を受けること。

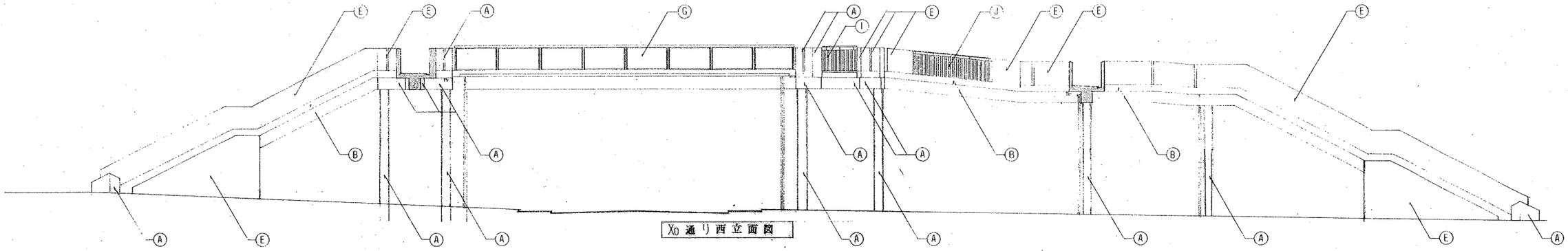
材料リスト

記号	材料	比重	厚mm	本数	備考
ケ	ケヤキ	4.5	2.0	1	別紙
キ	キンモクセイ	2.0	0.9	4	15cm
ア	アロエ(カットバナナ)	2.0	0.6	6	
ド	ドウダンツツジ	0.3	0.3	35	
キ	キリシマツツジ	0.5	0.4	30	

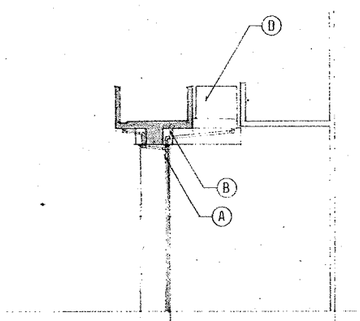
・敷地北側, 市4号棟 県4号棟側の屋外整備は本工事範囲に含む。
・屋外仕上レベルは既設補装及び歩道レベルとする。
・雨水桝 汚水桝はみんなで本工事とする。



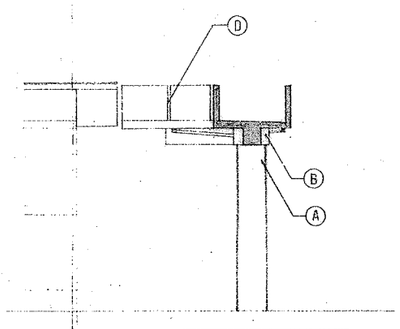
X0 通り東立面図



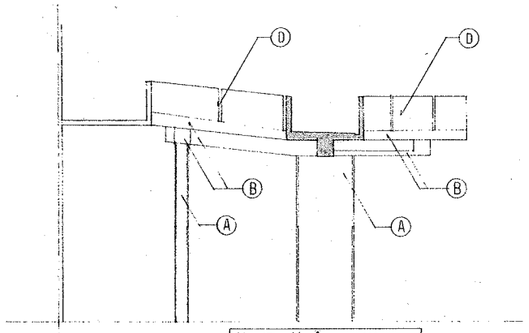
X0 通り西立面図



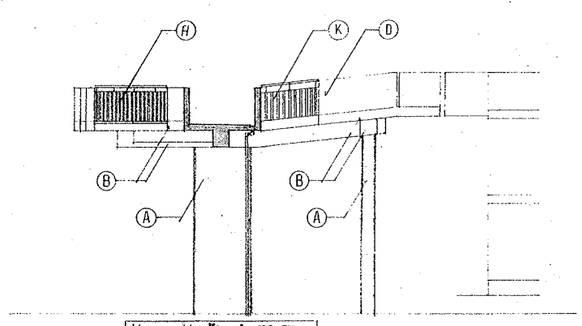
Y2 通り南立面図



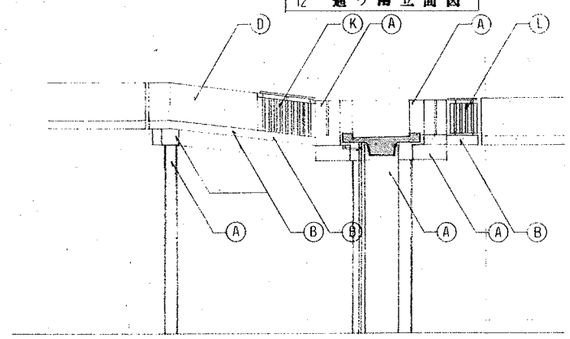
Y2 通り北立面図



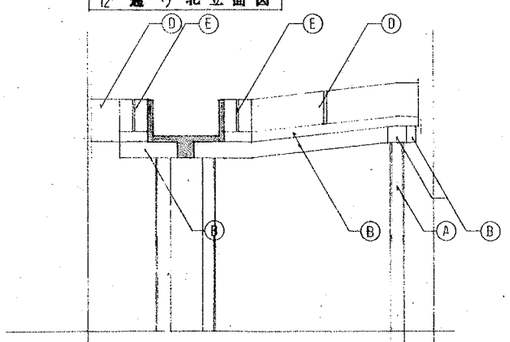
Y3 通り南立面図



Y3 通り北立面図

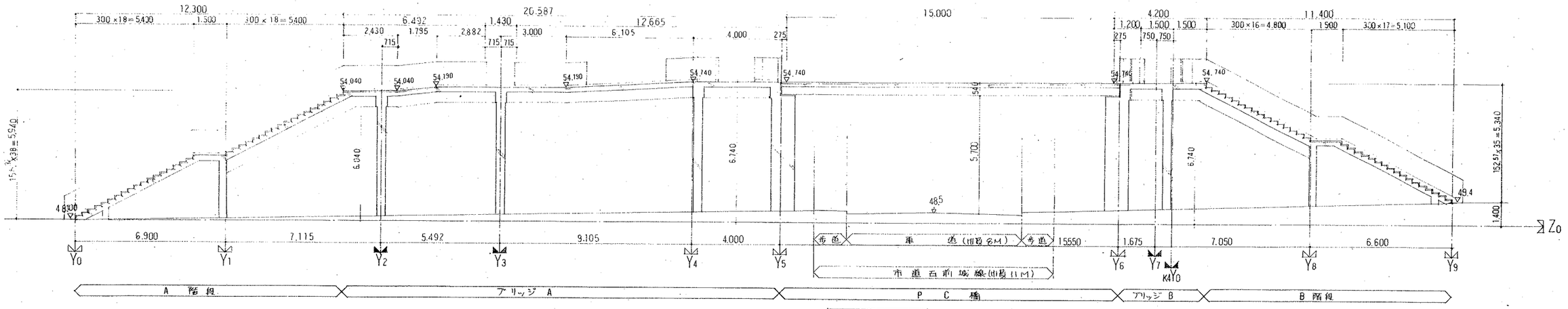


Y7 通り南立面図

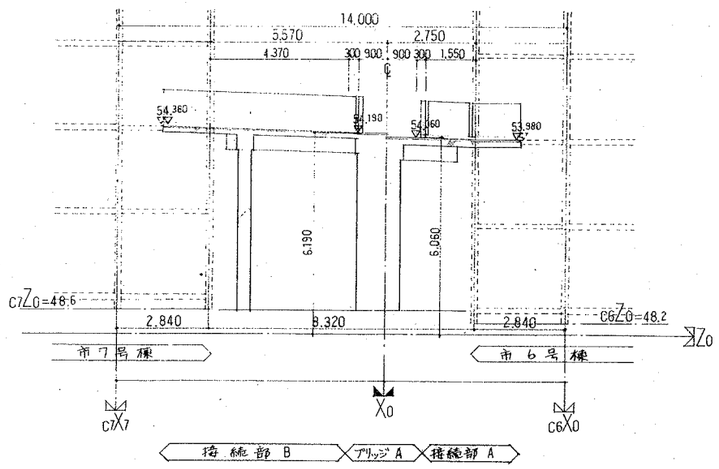


Y7 通り北立面図

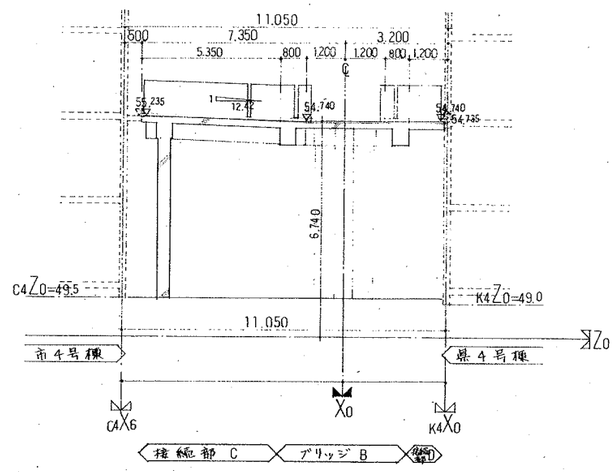
仕上表	
Ⓐ	コンクリート打放しの上ウレタンクリアー塗り
Ⓑ	コンクリート打放しの上G.P.塗り
Ⓒ	コンクリート打放し
Ⓓ	コンクリート打放しの上リシン吹付
Ⓔ	コンクリート打放しの上吹付タイル
Ⓕ	特殊面木 柱
Ⓖ	手摺 A
Ⓗ	手摺 B-1
Ⓘ	手摺 B-2
Ⓙ	手摺 C-1
Ⓚ	手摺 C-2
Ⓛ	手摺 D



X0 通り断面図

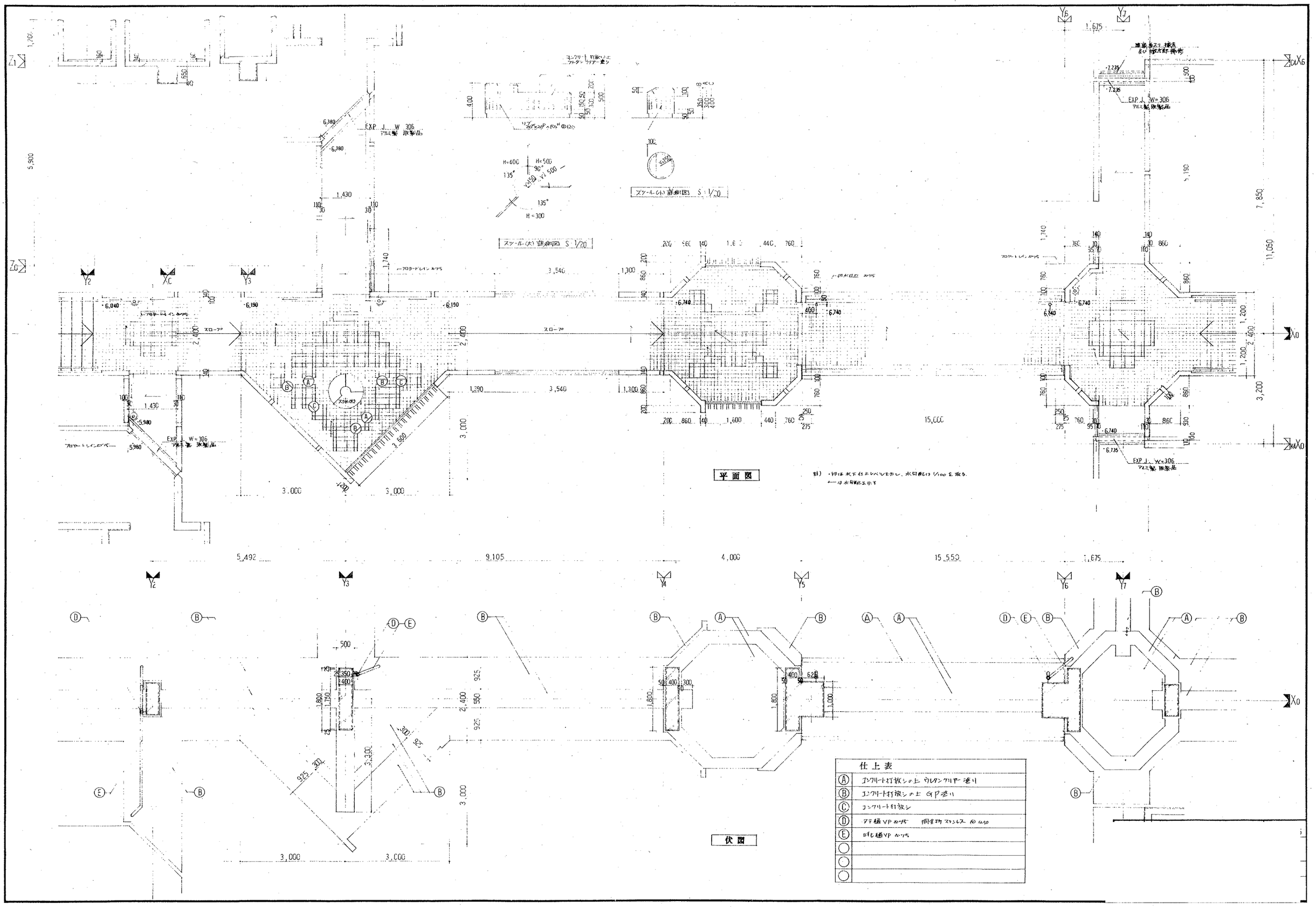


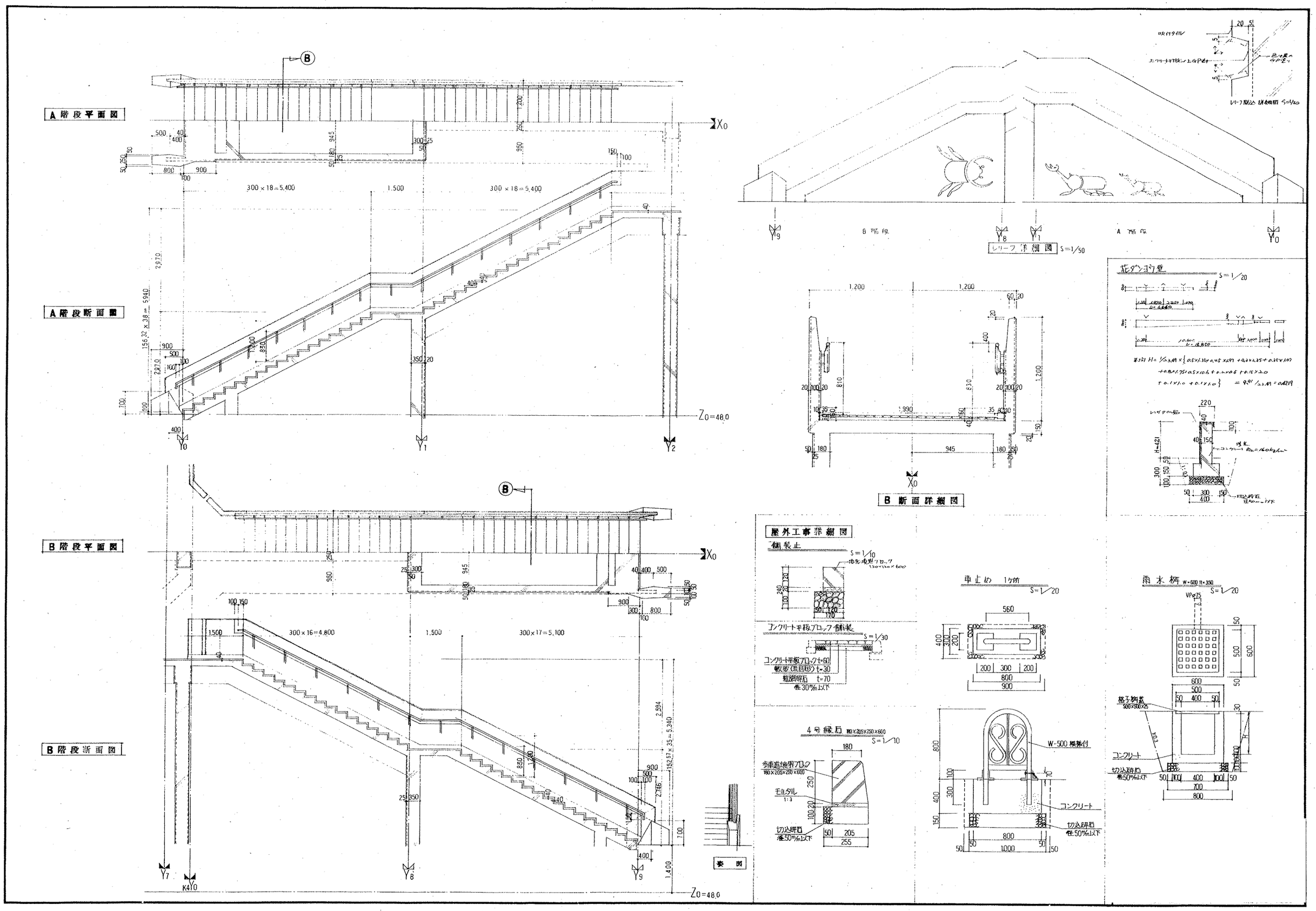
Y2, Y3 通り断面図



Y7 通り断面図

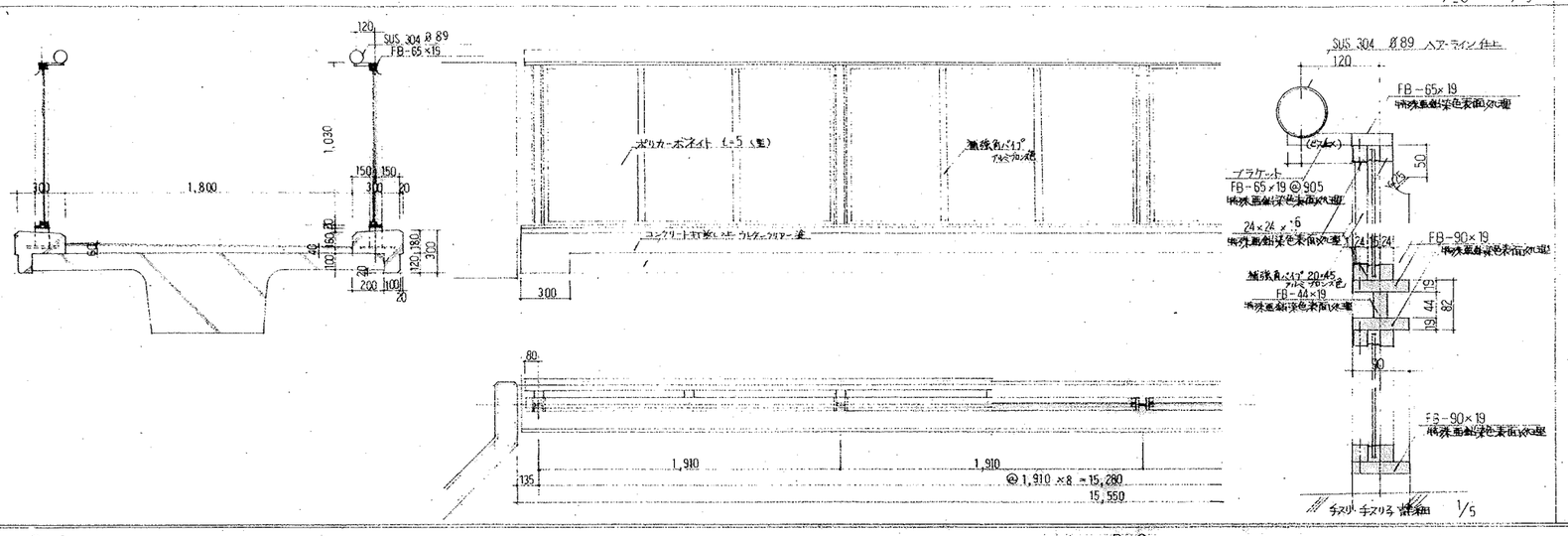
註) ▽印は水下α仕上レベルを示す。


平面図
伏図
スツール(大) 詳細図 S 1/20
スツール(小) 詳細図 S 1/20
EXP. J. W=306
スロープ
仕上表
Ⓐ コンクリート打放しの上 ウレタンクリアー塗り
Ⓑ コンクリート打放しの上 GP塗り
Ⓒ コンクリート打放し
Ⓓ 雨樋 VP 50×75 掴金物 ステンレス φ0.50
Ⓔ 呼び樋 VP 50×75


A階段平面図
A階段断面図
B階段平面図
B階段断面図
B断面詳細図
レリーフ詳細図 S=1/50
A 階段
B 階段
屋外工事詳細図
柵長さ
S=1/10
コンクリート平板ブロック舗装
S=1/30
4号縁石
S=1/10
車止め 1ケ所
S=1/20
雨水桝
S=1/20
花ダンヨウ壁
S=1/20
姿図
300×18=5,400
1,500
300×18=5,400
300×16=4,800
300×17=5,100
Z0=48.0

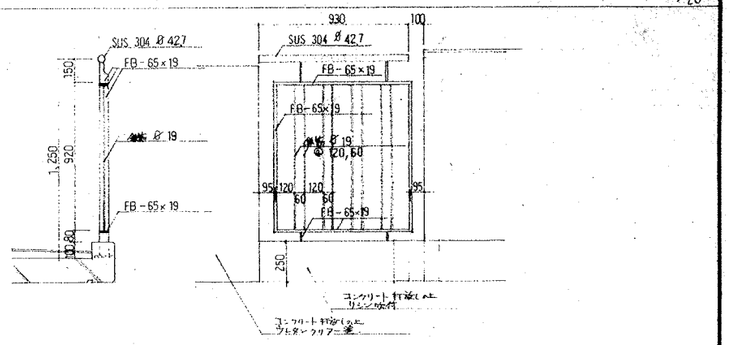
手スリ A

S:1/20　S:1/5

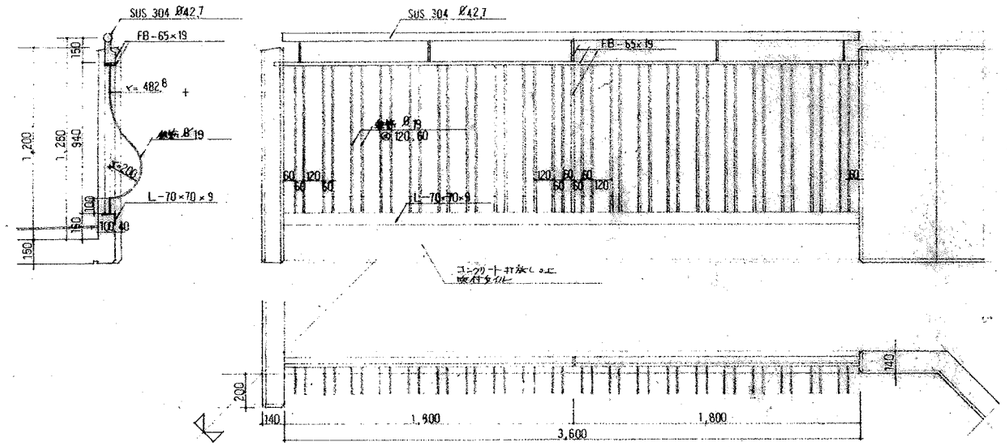


手スリ D

S:1/20

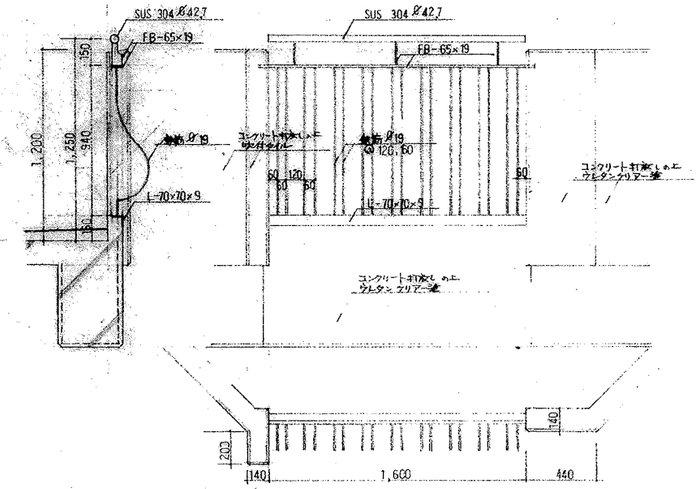


手スリ B-1



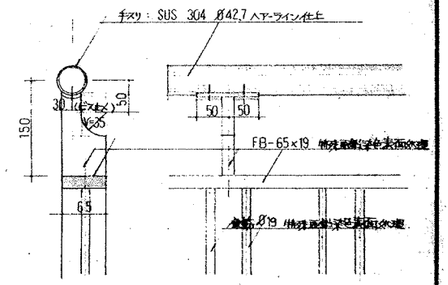
手スリ B-2

S:1/20

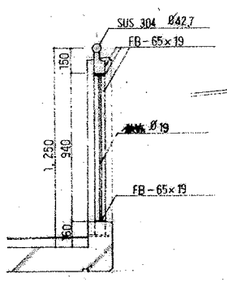


B,C,D 手スリ 頭部 詳細

S:1/5

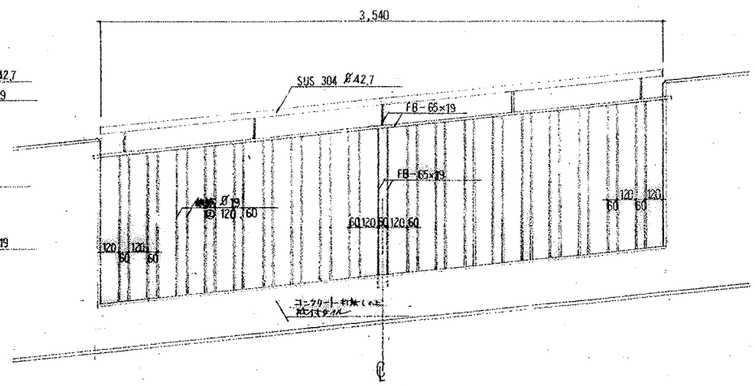


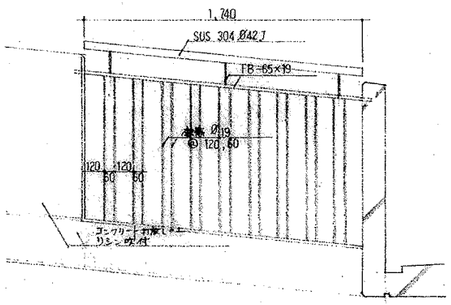
手スリ C-1



手スリ C-2

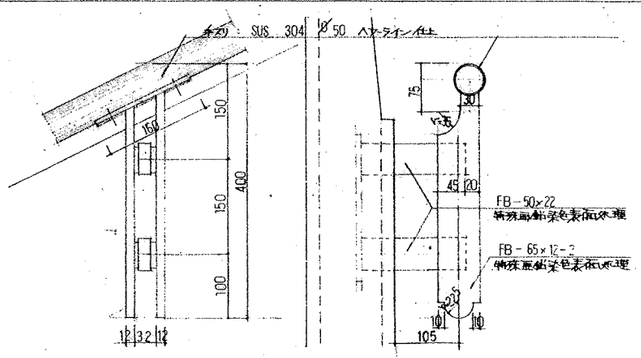
S:1/20





階段手スリ 詳細

S:1/5



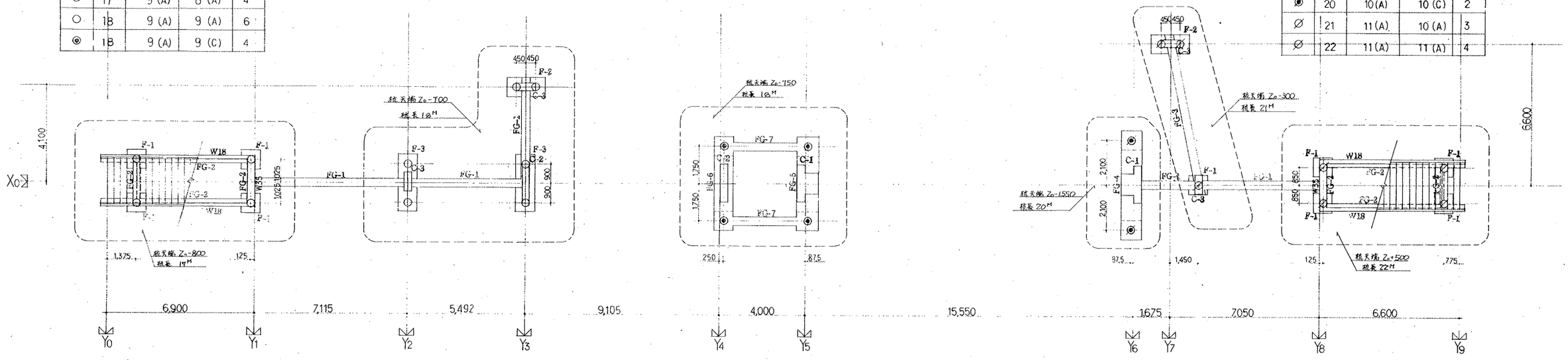
(注) ステンレス以外の鋼材は全てスチールとし、仕上は全て特殊亜鉛染色表面処理とする。
特殊亜鉛染色表面処理はミルブライト(株)山崎産業、東洋サッシ、大美〉又は同等以上とする。

工法　オーガ併用 油圧ハンマー
杭径　φ350　Ra＝35 t/本
杭種　P.H.C　(A) A種 (C) C種

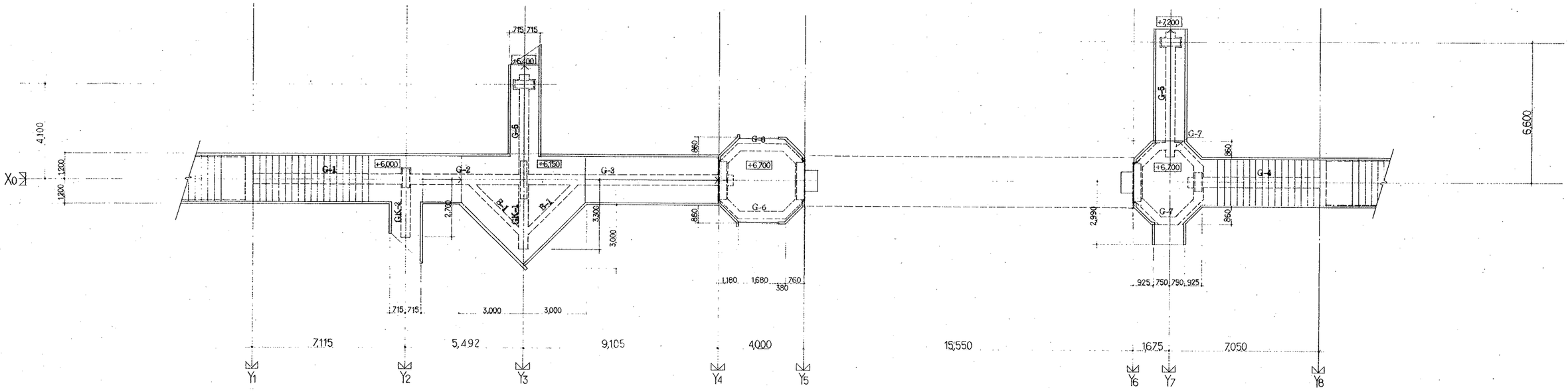
	杭長	下杭	上杭	本数
○	17	9 (A)	8 (A)	4
○	18	9 (A)	9 (A)	6
◎	18	9 (A)	9 (C)	4

工法　セメントミルク ケーシング工法
杭径　φ400　Ra＝35 t/本
杭種　P.H.C　(A) A種 (C) C種

	杭長	下杭	上杭	本数
◎	20	10 (A)	10 (C)	2
⊘	21	11 (A)	10 (A)	3
⊘	22	11 (A)	11 (A)	4



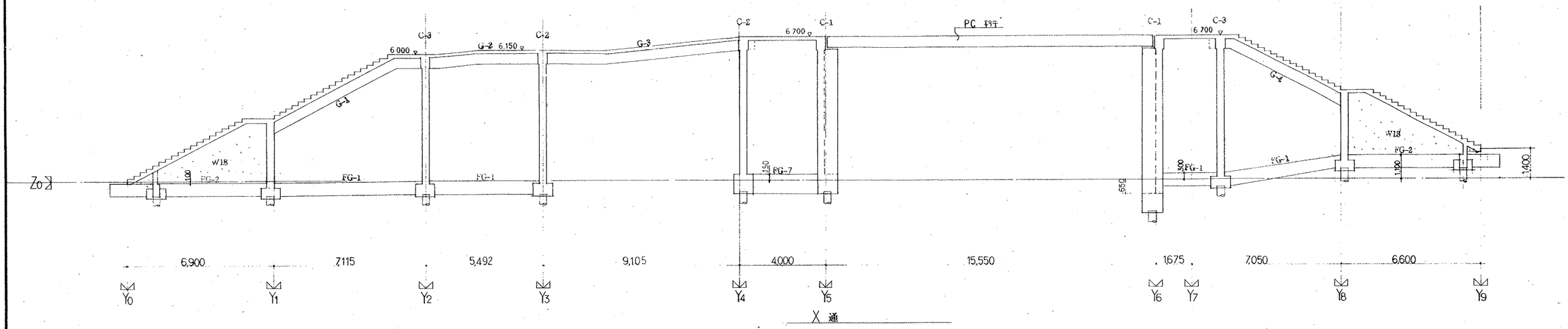
杭・基礎伏図　1/100

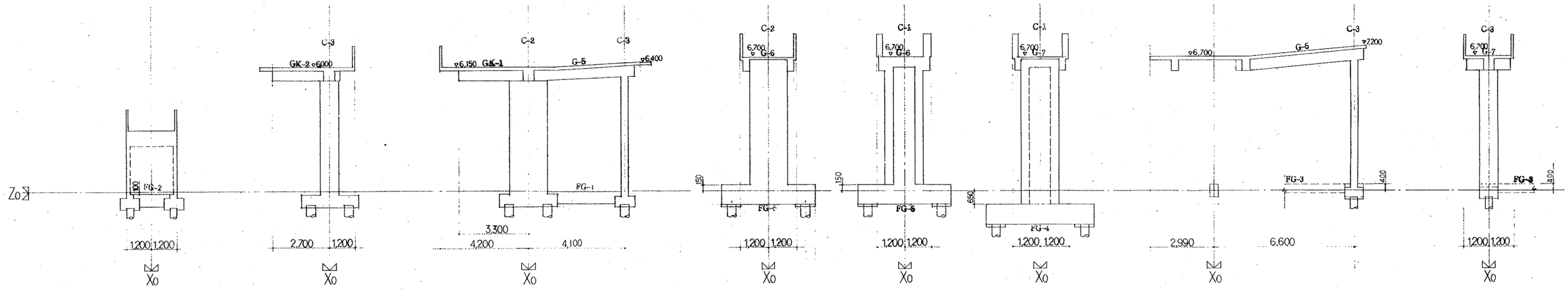


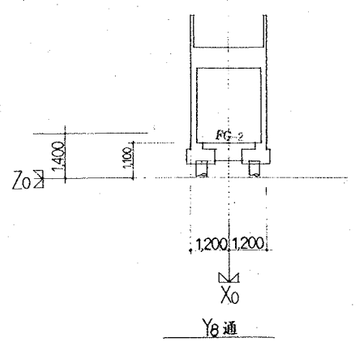
ブリッジ伏図　1/100

Z0＝48.0m＝[±0]
スラブはすべてS-1とする。

軸組図 1/100

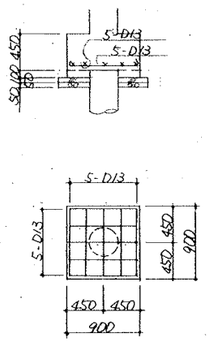

C-3
6.000
G-2 6.150
C-2
G-3
C-2
6.700
C-1
PC 梁
C-1
C-3
6.700
G-1
W18
FG-2
FG-1
FG-1
FG-7
FG-1
FG-1
FG-2
W18
G-4
Z0
6,900
7,115
5,492
9,105
4,000
15,550
1,675
7,050
6,600
Y0
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
Y9
X 通


C-3
FG-2
Z0
1,200 1,200
X0
Y1 通
C-3
GK-2 6.000
2,700
1,200
X0
Y2 通
C-2
C-3
6.150 GK-1
G-5
6.400
FG-1
3,300
4,200
4,100
X0
Y3 通
C-2
6,700
G-6
FG-6
1,200 1,200
X0
Y4 通
C-1
6,700
G-6
FG-5
1,200 1,200
X0
Y5 通
C-1
6,700
G-7
FG-4
1,200 1,200
X0
Y6 通
C-3
6.700
G-5
7.200
FG-3
2,990
6,600
X0
Y7 通
C-3
6,700
G-7
FG-3
1,200 1,200
X0
Y7 +1,675通

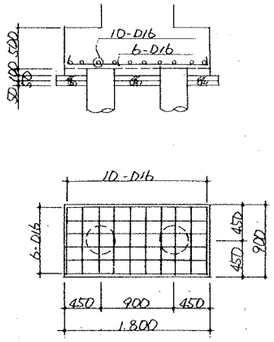

FG-2
Z0
1,400
1,100
1,200 1,200
X0
Y8 通

基礎配筋図　1/40

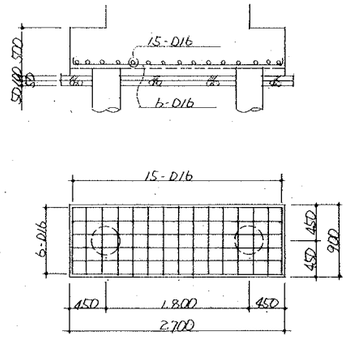
F-1



F-2



F-3



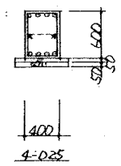
地中梁断面表　1/40

特記を除き　スターラップ　D13-@250，腹筋　2-D13　中止ノ筋　D10-@SL 3本毎

FG-1

全断面

4-D25

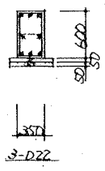


4-D25

FG-2

全断面

3-D22

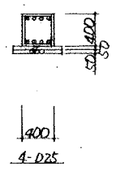


3-D22

FG-3

全断面

4-D25

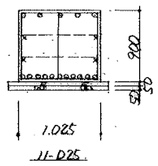


4-D25

FG-4

全断面

5-D25



11-D25

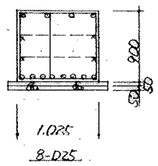
SL. 3-D16-@250

腹筋 4-D13

FG-5

全断面

4-D25



8-D25

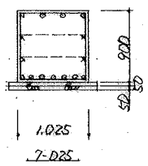
SL. D16-@250

腹筋 4-D13

FG-6

全断面

4-D25



7-D25

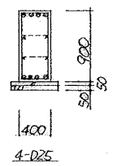
SL. D16-@200

腹筋 4-D13

FG-7

全断面

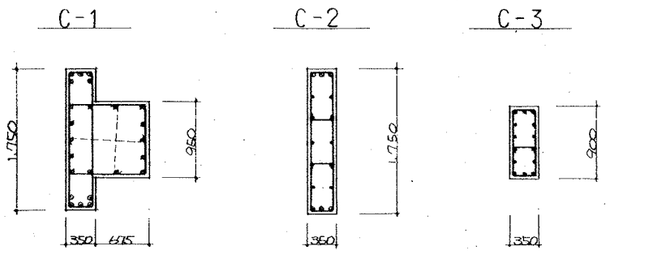
4-D25



4-D25

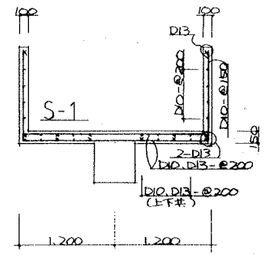
腹筋 4-D13

柱断面表 1/40

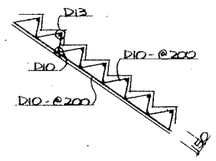


	C-1	C-2	C-3
主筋	10-D25 + 14-D22	10-D19 + 6-D25	14-D19
フープ	D13-@100	目-D13-@100	目-D13-@100
タイアフープ	D13-@300		

床版配筋詳細図 1/40

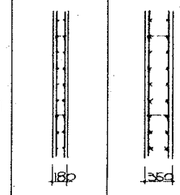


階段配筋詳細図 1/40



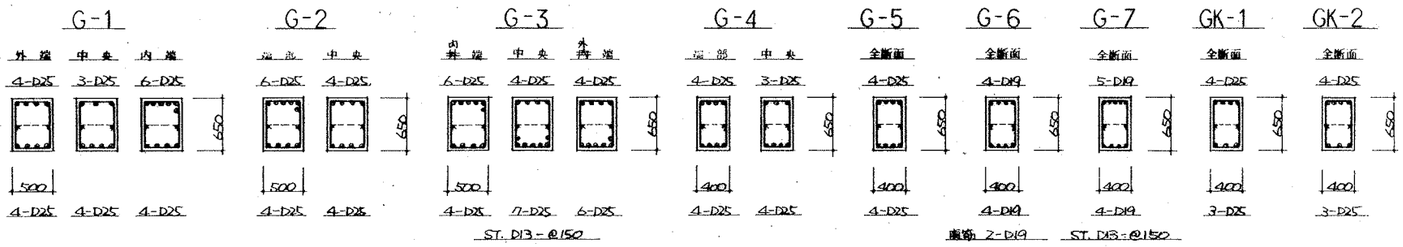
壁標準配筋図 1/40

注記）中止メ筋 1-D10/m²

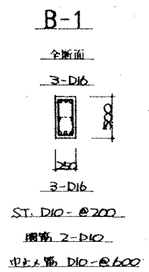
	W18	W35
断面図		
縦筋	D10-@200	D13-@200
横筋	D10-@200	D13-@200
開口補強筋	2-D16	2-D16

大梁断面表 1/40

注記を除き ST. D13-@200、腰筋 2-D13、中止メ筋 1-D10/ST.3本

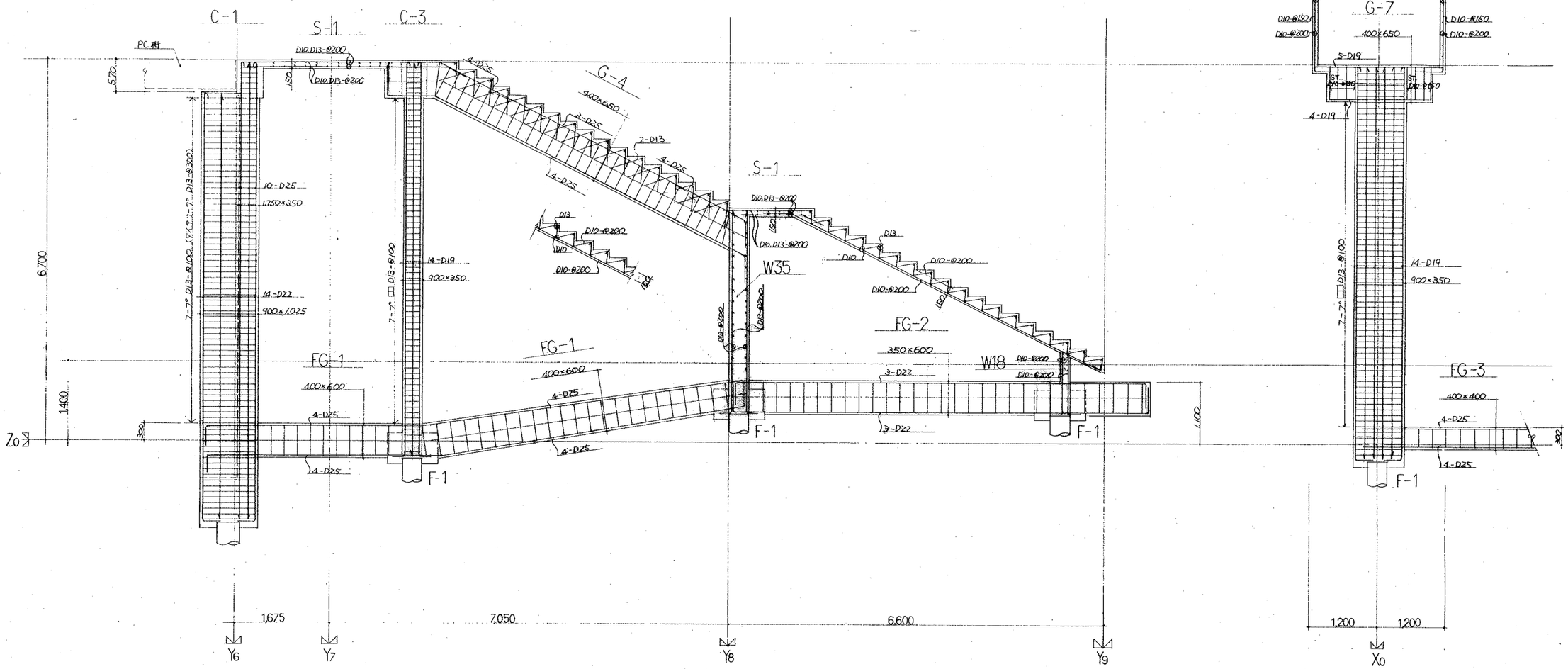


小梁断面表 1/40



配筋詳細図　1/40

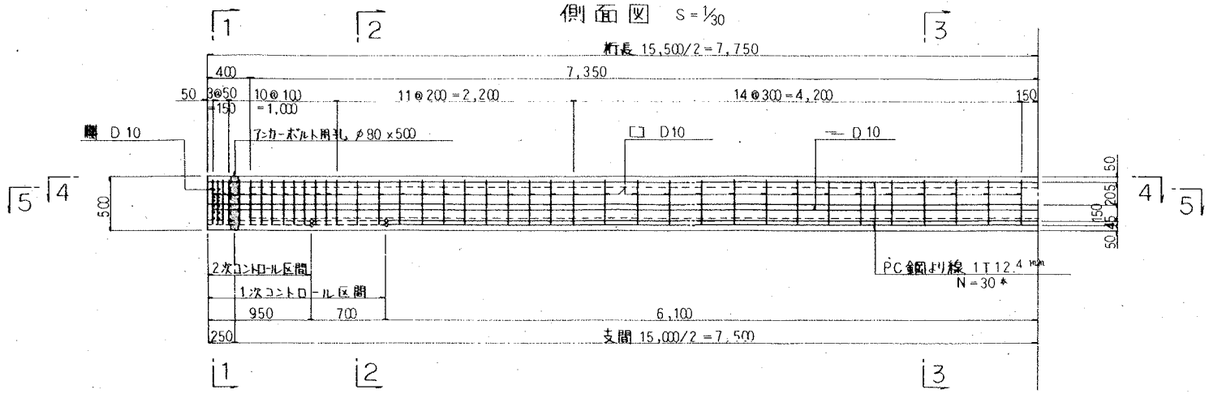
特記を除き、ST. D13-@200. 地中梁ST. D13-@250，腰筋D13，中止め筋 1-D10/ST. 3本



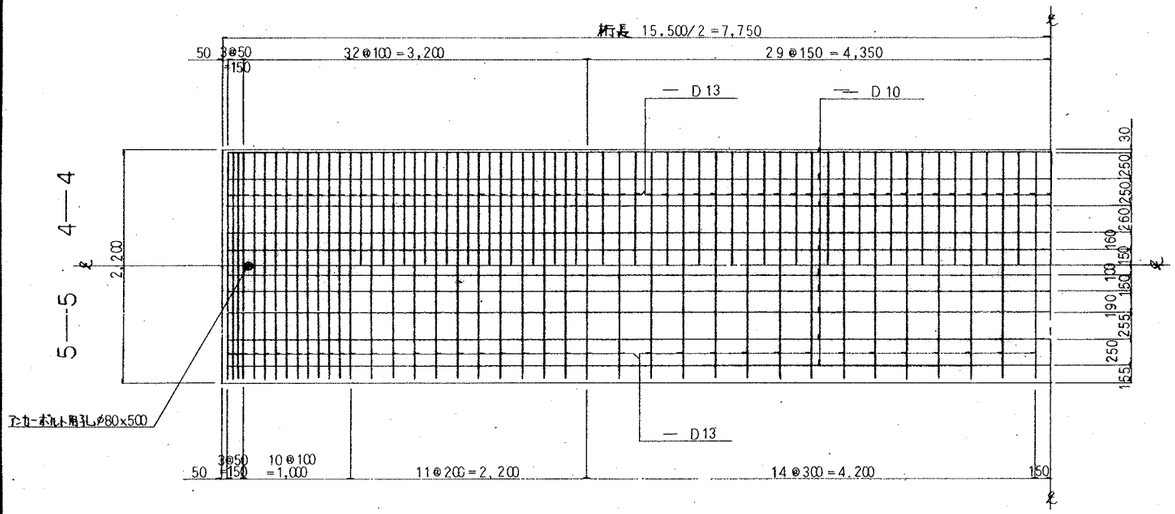
一般共通事項		
コンクリート	Fc 600 kg/cm²	
鉄筋	SD 30	JIS 規格品
P.C鋼材	SWPR 7A	1T 12.4φ
	導入張力	12.5T
	導入時コンクリート強度	420 kg/cm²
工場	Fc 210 kg/cm²	(工場製作とする)

主桁詳細図

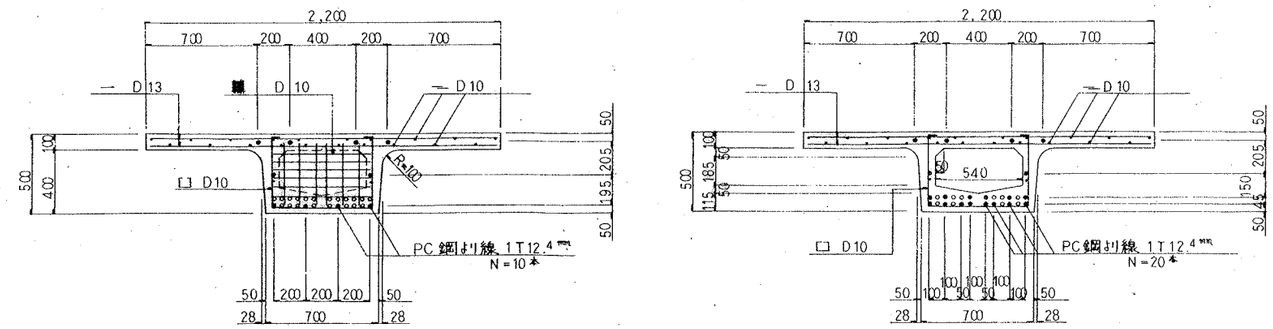
側面図 S=1/30



平面図 S=1/30

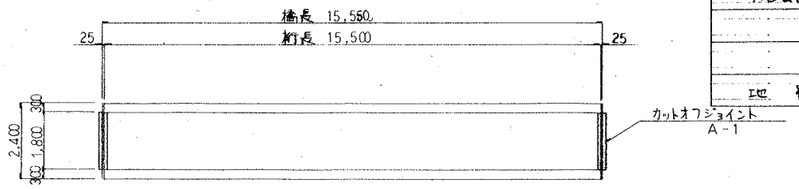


断面図 S=1/20

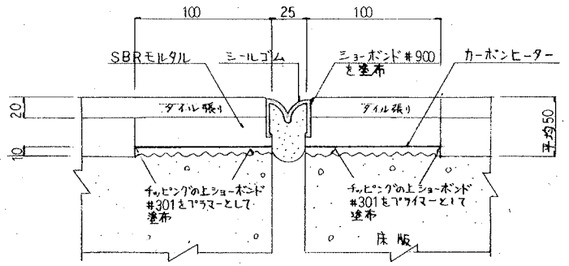


伸縮継手詳細図

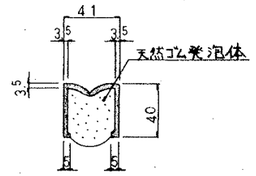
平面図



断面図

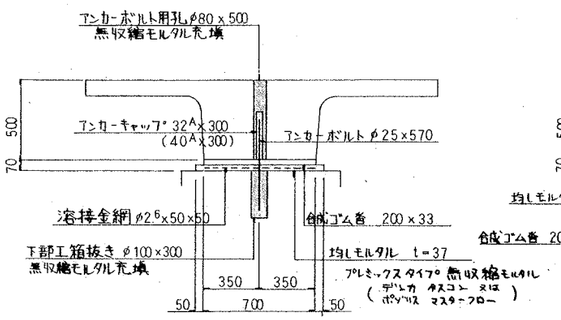


A-1

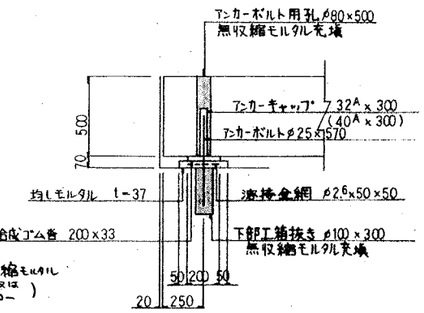


支承詳細図 S=1/20

断面図

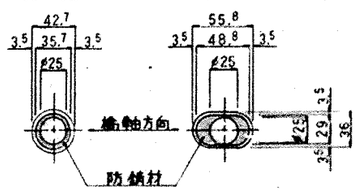


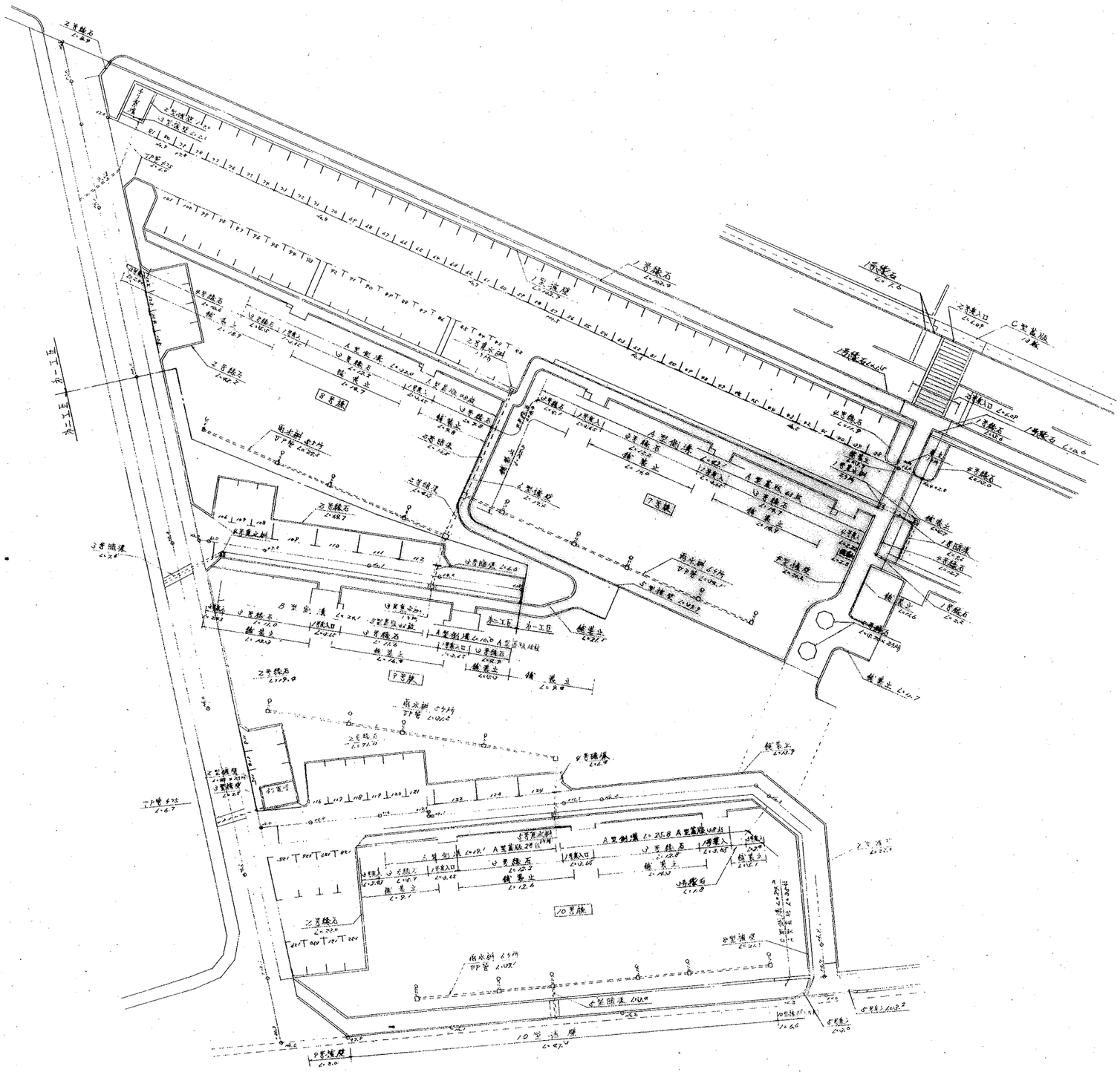
側面図



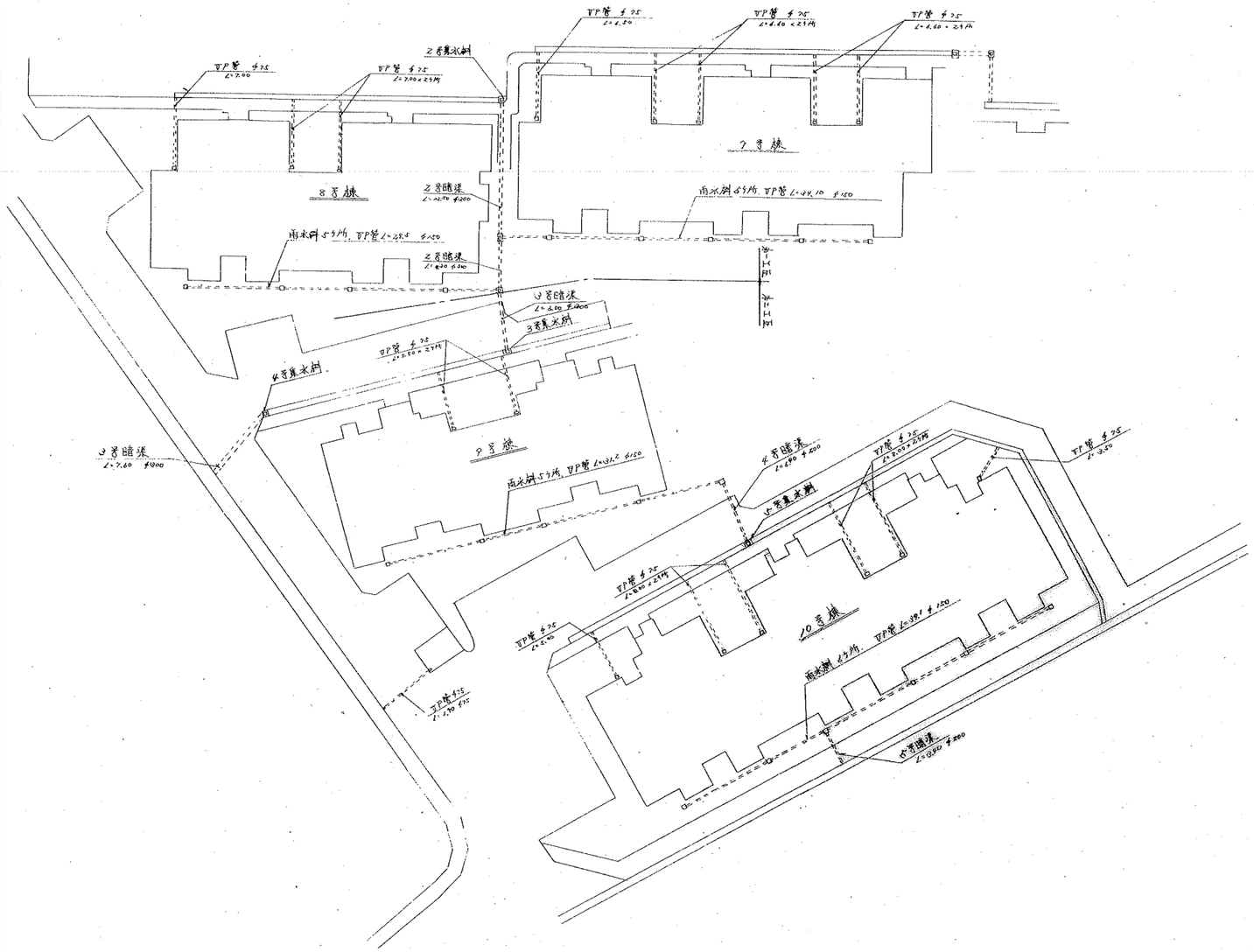
注)( )内は可動側を示す。

アンカーキャップ

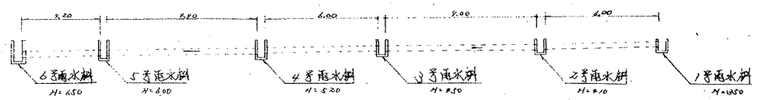




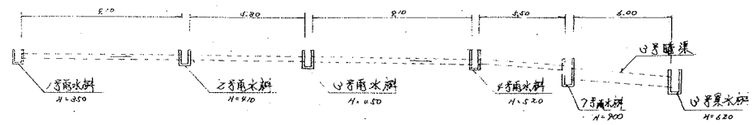
外構図



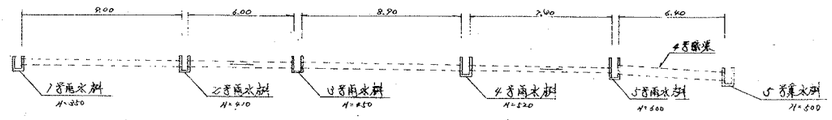
7号棟
（第一工区）



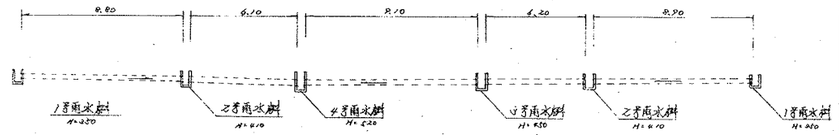
8号棟
（第一工区）



9号棟
（第二工区）



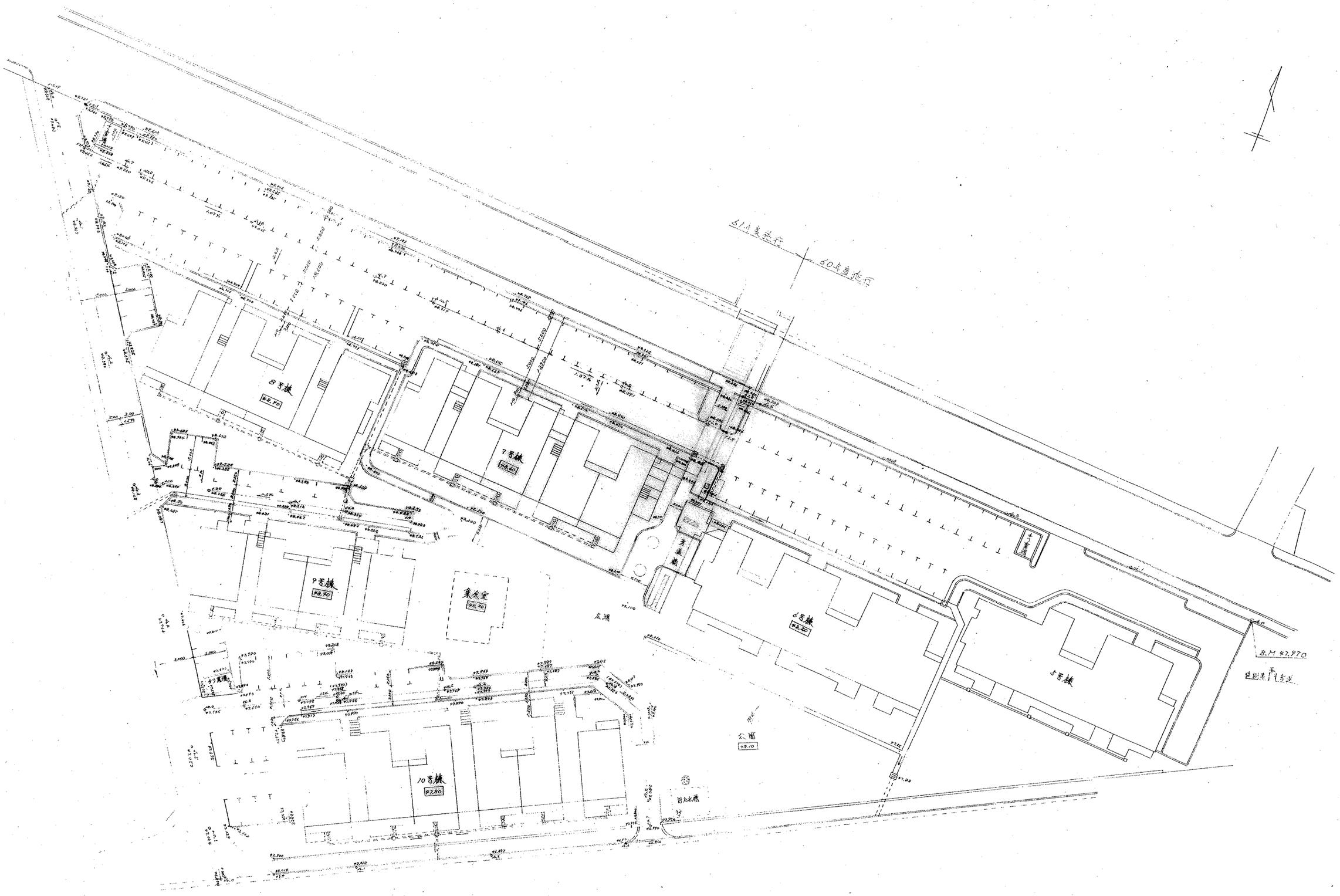
10号棟
（第二工区）



種別	単位	数量 第一工区	数量 第二工区	備考
1号雨水桝	箇所	2.0	3.0	
2号 〃	〃	2.0	3.0	
3号 〃	〃	2.0	2.0	
4号 〃	〃	2.0	2.0	
5号 〃	〃	1.0	1.0	
6号 〃	〃	1.0	—	
7号 〃	〃	1.0	—	
連結桝水管 φ25	m	50.9	45.5	
〃 φ150	〃	68.6	70.0	

外構図

S200W UP211



外構図

No.6
G.H = 48.21
F.H = 48.606
+0.396

	車	駐
A	1.7	1.5
B	0.2	0
C	0.6	0
D	0.6	0

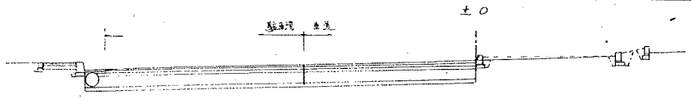
No.5
G.H = 47.93
F.H = 48.391
+0.461

	車	駐
A	0.6	0.6
B	0.5	0
C	0.6	0
D	0.6	0

No.4+6
G.H = 48.80
F.H = 48.240
−0.060

	+2.8側 車	+2.8側 駐	No.2+4 車	No.2+4 駐
A	3.6	0	3.6	3.0
B	0.1	0	0.1	0
C	0	0	0	0
D	0.8	0	0.8	0

No.4+2.8
G.H = 48.206
F.H = 48.206
±0

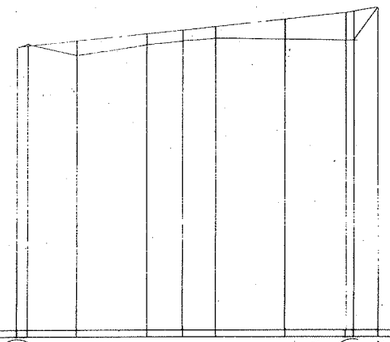


		車道	駐車場
擁壁側	A	2.6	3.6
盛土	B	0	0
埋戻	C	0	0
基面整正	D	1.0	0

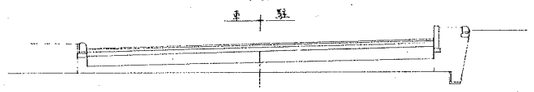
7.8号棟北側
(第一工区)

50.000

45.000



No.9
G.H = 48.412
F.H = 49.250
+0.838



	車	駐
A	0	0
B	1.2	1.5
C	1.1	0
D	0	0

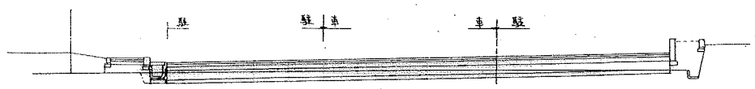
+17.80
G.H = 48.41
F.H = 49.226
+0.816

	No.8側 車	No.8側 駐	No.9側 車	No.9側 駐
A	0	0	0	0
B	2.2	2.8	1.5	1.9
C	0.9	0	0.9	0
D	0	0	0	0

No.8
G.H = 48.42
F.H = 49.035
+0.615

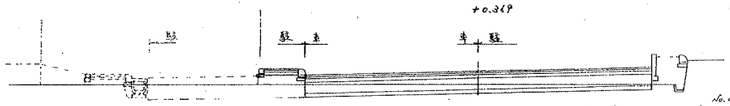
	車	駐
A	0.1	0.1
B	0.7	0.5
C	0.9	0
D	0.4	0

No.7
G.H = 48.43
F.H = 48.820
+0.390



	車	駐
A	1.6	2.1
B	0.2	0
C	0.7	0
D	0.4	0

No.6+10.5
G.H = 48.35
F.H = 48.719
+0.369

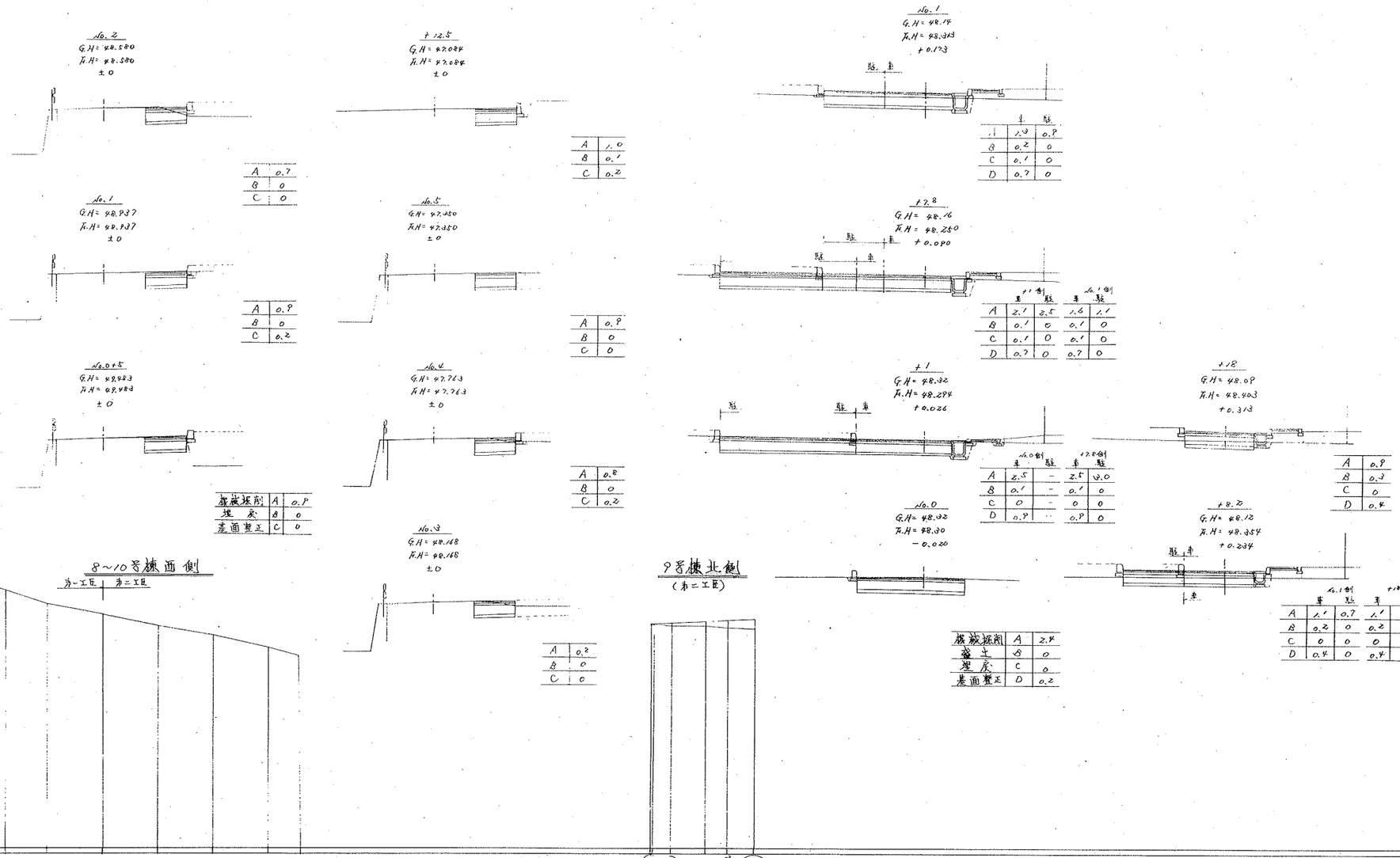


	No.6側 車	No.6側 駐	No.7側 車	No.7側 駐
A	1.5	1.0	1.7	2.8
B	0.3	0	0.1	0
C	0.6	0	0.7	0
D	0	0	0.4	0

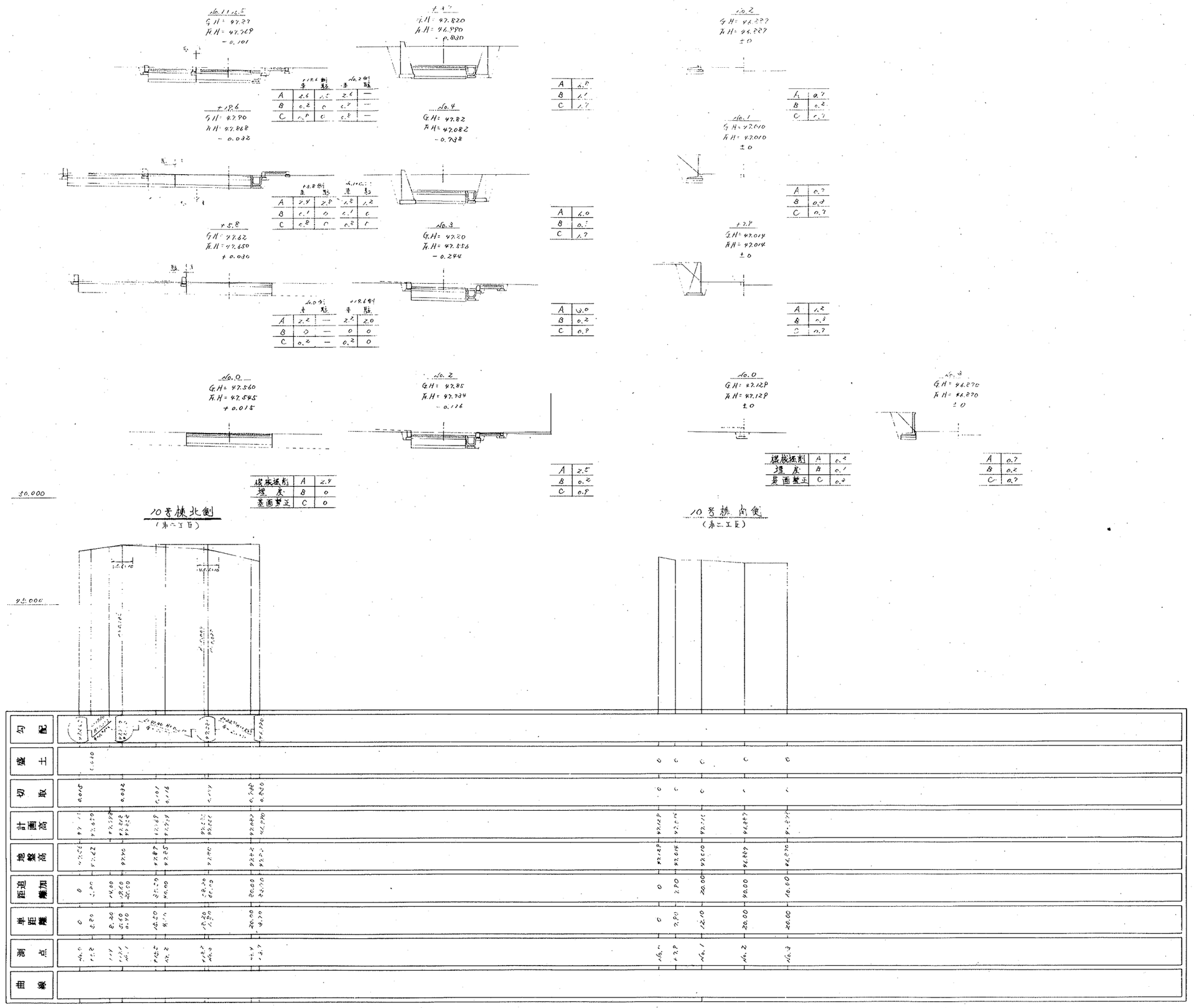
+7.0
G.H = 49.352
F.H = 49.352
±0

A	0
B	0
C	0.4
D	0

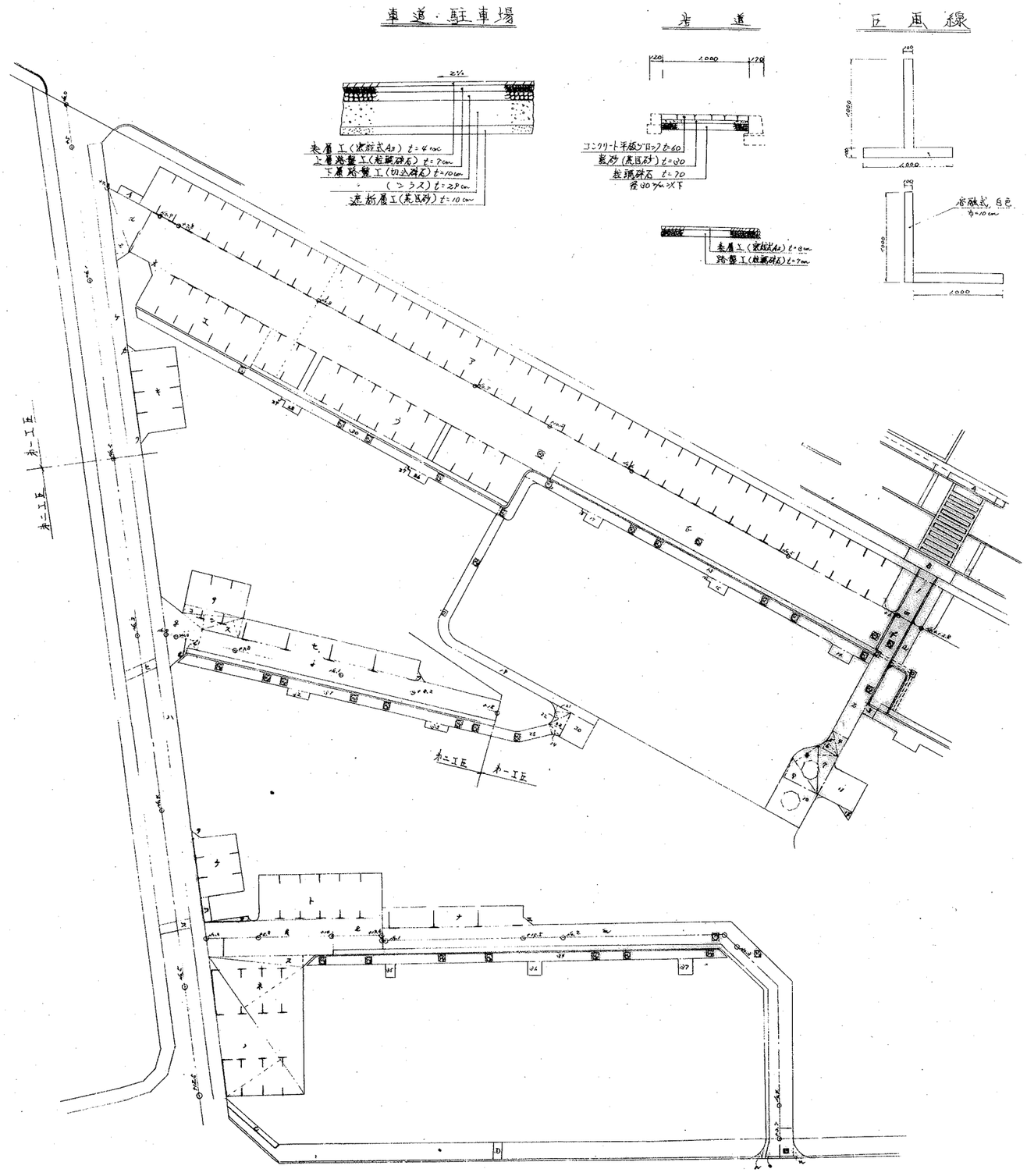
| | | |


No.2
G.H= 48.580
F.H= 48.580
±0
A 0.7
B 0
C 0
No.1
G.H= 48.937
F.H= 48.937
±0
A 0.8
B 0
C 0.2
No.0+5
G.H= 48.483
F.H= 48.483
±0
盛土法面
埋戻
法面整正
A 0.8
B 0
C 0
+12.5
G.H= 47.084
F.H= 47.084
±0
A 1.0
B 0.1
C 0.2
No.5
G.H= 47.850
F.H= 47.850
±0
A 0.8
B 0
C 0
No.4
G.H= 47.763
F.H= 47.763
±0
A 0.8
B 0
C 0.2
No.3
G.H= 48.168
F.H= 48.168
±0
A 0.2
B 0
C 0
No.1
G.H= 48.14
F.H= 48.343
+0.173
駐 車
上 駐
A 1.9 0.8
B 0.2 0
C 0.1 0
D 0.7 0
+7.8
G.H= 48.16
F.H= 48.250
+0.090
駐 車
+1側 車 駐
No.1側 車 駐
A 2.1 2.5 1.6 1.1
B 0.1 0 0.1 0
C 0.1 0 0.1 0
D 0.7 0 0.7 0
+1
G.H= 48.32
F.H= 48.284
+0.026
駐 車
No.0側 車 駐
+7.8側 車 駐
A 2.5 - 2.5 3.0
B 0.1 - 0.1 0
C 0 - 0 0
D 0.8 - 0.8 0
No.0
G.H= 48.32
F.H= 48.30
−0.020
+18
G.H= 48.08
F.H= 48.403
+0.313
A 0.8
B 0.3
C 0
D 0.4
+8.25
G.H= 48.12
F.H= 48.354
+0.234
駐 車
No.1側 車 駐
+18側 車 駐
A 1.1 0.7 1.1 —
B 0.2 0 0.2 —
C 0 0 0 -
D 0.4 0 0.4 -
50.000
45.000
8～10号棟西側
第一工区 第二工区
9号棟北側
(第二工区)
盛土法面
埋戻
法面整正
A 2.4
B 0
C 0
D 0.2
勾配
盛土
切取
計画高
地盤高
距離加
単距離
測点
曲線

外構図


No.11+2.5
G.H = 47.27
F.H = 47.268
- 0.101
+18.6
G.H = 47.90
F.H = 47.868
- 0.032
+5.8
G.H = 47.62
F.H = 47.650
+ 0.030
No.0
G.H = 47.560
F.H = 47.545
+ 0.015
+7
F.H = 47.820
F.H = 46.890
- 0.930
No.4
G.H = 47.82
F.H = 47.082
- 0.738
No.3
G.H = 47.20
F.H = 47.556
- 0.244
No.2
G.H = 47.85
F.H = 47.734
- 0.116
No.2
G.H = 46.227
F.H = 46.227
±0
No.1
G.H = 47.010
F.H = 47.010
±0
+7.8
G.H = 47.014
F.H = 47.014
±0
No.0
G.H = 47.128
F.H = 47.128
±0
No.3
G.H = 46.270
F.H = 46.270
±0
±0.000
10号棟北側
(第二工区)
10号棟南側
(第二工区)
±0.000
勾配
盛土
切取
計画高
地盤高
距離加
単距離
測点
曲線

外構図



工種	記号	計算式	面積
車道（第一工区）	a	5.00 × 1.90	10.07
	b	4.50 × 41.00	187.45
	c	5.00 × 53.00	265.00
	d	1/2 × 5.00 × 5.00	12.50
	e	1/2 × 8.00 × 1.50	6.00
	f	2.24 × 4.53	10.14
	斜	0.8²×2 + 0.6² + π×0.4²×1.25	− 2.71
	計		a〜e 480.21 a〜f 490.45
車道（第二工区）	g	1/2 × 8.00 × 4.10	16.40
	h	1/2 × 2.80 × 0.30	0.42
	i	1/2 × 2.60 × 1.00	1.30
	j	34.20 × 2.37	81.05
	k	14.00 × 4.00	56.00
	l	5.60 × 3.38	18.88
	m	85.00 × 2.00	170.00
	n	1/2 × 1.10 × 1.30	0.71
	o	1/2 × 0.90 × 1.90	0.86
	p	1/2 × 1.10 × 0.50	0.27
	斜	0.8² + 0.7²×2 + 0.35×0.90	− 1.75
	計		344.26

工種	記号	計算式	面積
歩道（第一工区）密粒式	A	8.0 × 1.2	10.80
	B	6.0 × 0.5	3.00
	計		13.80
歩道（第二工区）密粒式	C	0.8 × 8.0	3.20
	D	1.0 × 1.7	1.70
	計		4.90

工種	記号	計算式	面積
駐車場（第一工区）	ア	25.20 × 5.00	471.00
	イ	2.60 × 1.00	2.60
	ウ	32.80 × 4.53	148.58
	エ	13.30 × 5.00	66.50
	オ	1/2 × 1.00 × 1.00	0.50
	カ	1/2 × 1.00 × 1.00	0.50
	キ	9.00 × 5.00	45.00
	ク	1/2 × 1.00 × 1.00	0.50
	ケ	1.50 × 35.00	52.50
	斜	π×0.4²	− 0.50
	計		787.10
駐車場（第二工区）	コ	1/2 × 6.70 × 1.00	3.35
	サ	3.30 × 6.75	22.32
	シ	1/2 × 6.70 × 1.60	5.36
	ス	1/2 × 4.60 × 1.90	4.37
	セ	20.40 × 2.25	45.90
	ソ	1/2 × 1.00 × 1.00	0.50
	タ	1/2 × 1.00 × 1.00	0.50
	チ	5.00 × 6.75	33.75
	ツ	2.70 × 0.80	2.16
	テ	1/2 × 4.40 × 0.50	1.10
	ト	5.00 × 13.80	69.00
	ナ	14.85 × 2.25	33.41
	ニ	1/2 × 1.00 × 1.00	0.50
	ヌ	1/2 × 11.80 × 1.30	7.67
	ネ	1/2 × 18.70 × 7.80	73.71
	ノ	1/2 × 18.70 × 7.20	68.04
	ハ	1.50 × 73.00	109.50
	ヒ	1.00 × 3.70	3.70
	フ	1.00 × 3.50	3.50
	計		492.34

工種	記号	計算式	面積
歩道（第一工区）平板ブロック コンクリート	1	2.00 × 5.00	10.00
	2	2.00 × 15.00	30.00
	3	1.00 × 2.30	2.30
	4	1/2 × 2.00 × 3.20	3.20
	5	1/2 × 3.70 × 1.20	2.22
	6	1/2 × 2.50 × 1.60	2.00
	7	1/2 × 2.50 × 4.20	5.25
	8	1/2 × 4.60 × 3.00	6.90
	9	1/2 × 4.50 × 3.70	8.32
	10	4.50 × 4.40	19.80
	11	3.50 × 4.20	14.70
	12	1/2 × 1.80 × 1.30	1.17
	13	1.00 × 48.80	48.80
	14	1.00 × 2.70	2.70
	15	1.00 × 2.00	2.00
	16	0.60 × 0.20	0.12
	17	1.00 × 2.00	2.00
	18	0.60 × 0.20	0.12
	19	1.00 × 40.50	40.50
	20	3.10 × 2.90	8.99
	21	1/2 × 2.80 × 0.80	1.12
	22	1/2 × 2.80 × 0.60	0.84
	23	1/2 × 1.60 × 2.90	2.32
	24	1/2 × 1.70 × 0.30	0.25
	25	1.00 × 6.70	6.70
	26	2.10 × 1.30	2.73
	27	0.50 × 0.60	0.30
	28	2.00 × 1.30	2.60
	29	0.50 × 0.60	0.30
	30	1.00 × 1/2 (45.00 + 41.00)	46.00
	斜	0.5²×0.65 + 2.14 + 0.4×0.8 + 1.7 + 0.65×0.65×2.14 + π/2 × 2.2²×2.14 (0.6+0.2)	− 18.62
	計		247.13
歩道（第二工区）平板ブロック コンクリート	31	1.00 × 33.40	33.40
	32	2.90 × 0.60	1.74
	33	2.90 × 0.60	1.74
	34	1.00 × 46.70	46.70
	35	2.60 × 0.70	1.82
	36	3.20 × 0.70	2.24
	37	2.60 × 0.70	1.82
	斜	0.8²×3 + 0.7²×2 + 0.35²×3	− 2.94
	計		84.50

※ 上段は第一工区

工種	種別	規格	数量	備考
歩道	表層工	コンクリート平板ブロック t=6cm	247 m²	1〜30
			84 m²	31〜37
	〃	密粒式As t=3cm	13 〃	A〜B
			4 〃	C〜D
	路盤工	砂 t=3cm	247 〃	1〜30
			84 〃	31〜37
	〃	粒調砕石 t=7cm	260 〃	1〜30, A〜B
			88 〃	31〜37, C〜D
車道	表層工	密粒式As t=4cm	480 〃	a〜e
			344 〃	f〜n
	上層路盤工	粒調砕石 t=7cm	480 〃	a〜e
			344 〃	f〜n
	下層 〃	切込砕石 t=10cm	480 〃	a〜e
			344 〃	f〜n
	〃	シラス t=27cm	480 〃	a〜e
			344 〃	f〜n
	遮断層工	荒目砂 t=10cm	362 〃	(a〜f)−d−e−5×2m²
			344 〃	f〜n
駐車場	表層工	密粒式As t=4cm	787 〃	ア〜チ
			492 〃	コ〜フ
	上層路盤工	粒調砕石 t=7cm	787 〃	ア〜チ
			492 〃	コ〜フ
	下層 〃	切込砕石 t=10cm	787 〃	ア〜チ
			492 〃	コ〜フ
	〃	シラス t=27cm	787 〃	ア〜チ
			492 〃	コ〜フ
	遮断層工	荒目砂 t=10cm	580 〃	(ア〜チ)−イ−エ−オ−5×2m²+(ホ〜ヌ)×4m
			492 〃	コ〜フ
丘面線	破線	溶融式、白色 巾10cm	220 m	
			99 m	

丘面線

第一工区

20×60 + 1.0×44 + 2.7×4 + 10.0×12.5 = 220 ≒ 220 m

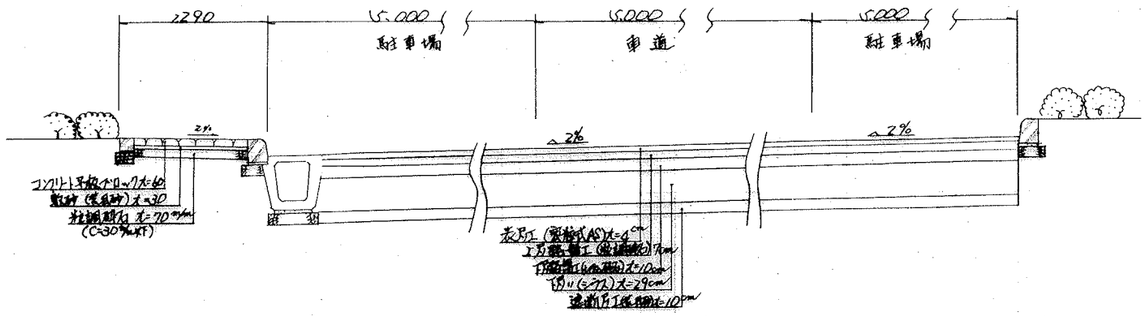
第二工区

20×14 + 2.0×7 + 1.0×17 + 1.0×14 + 2.0×2.0 + 1.5 + 2.0×2 = 99.5 ≒ 99 m

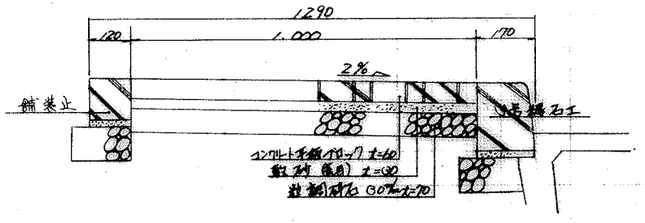
外構図

S200W 1IP211

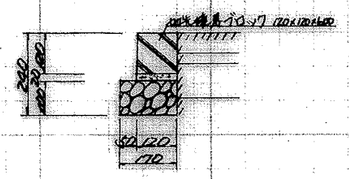
標準断面図 S=1/30



歩道断面図 S=1/10

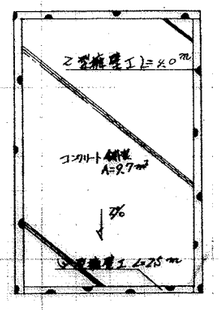


舗装止 S=1/10

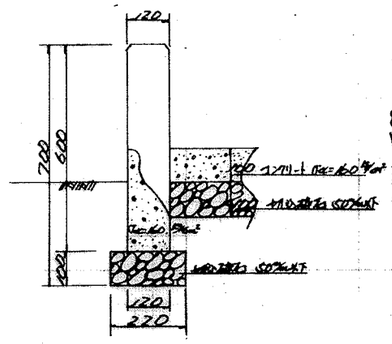


擁壁工

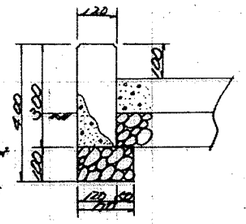
平面詳細図 S=1/50



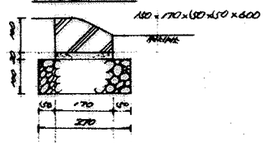
Z型擁壁工 S=1/10



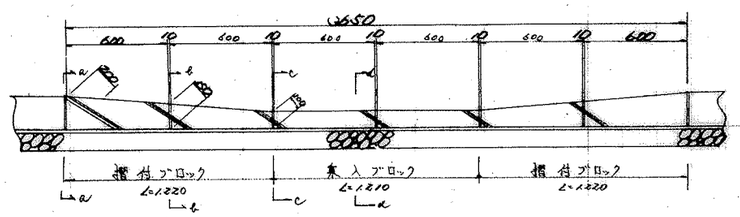
U型擁壁工 S=1/10

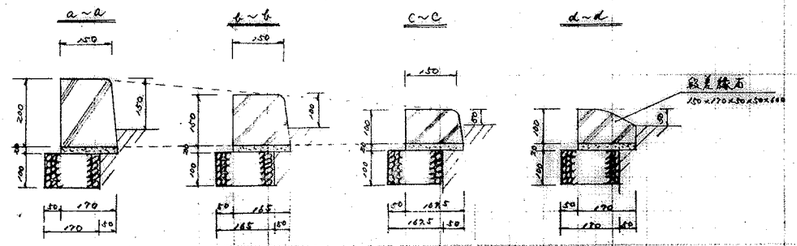


5号乗入口

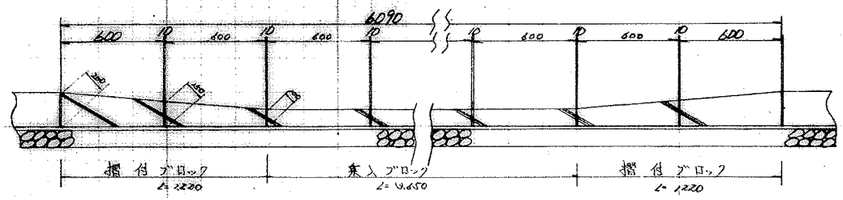


1号乗入工 S=1/20

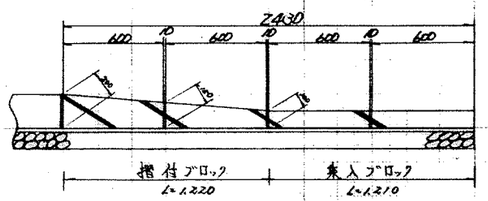




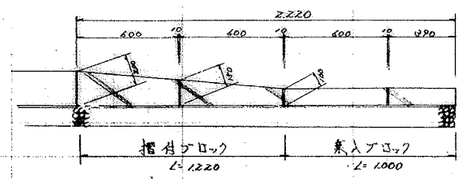
2号乗入工 S=1/20



3号乗入工 S=1/20

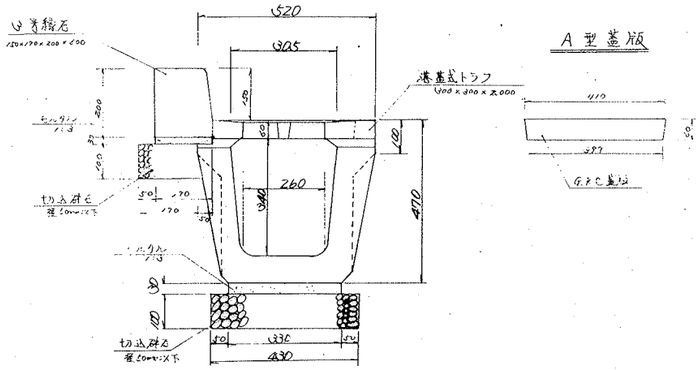


4号乗入工 S=1/20



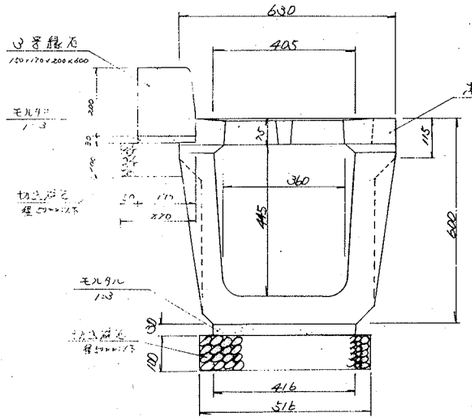
外構図

A型側溝 S=1/10

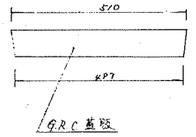


A型蓋版

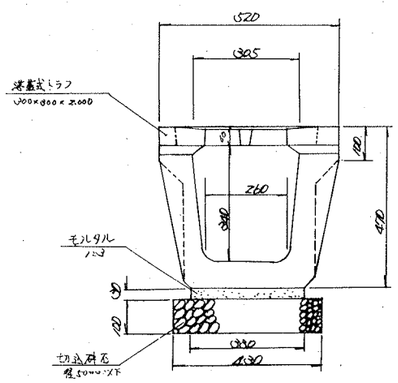
B型側溝 S=1/10



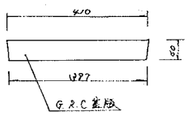
B型蓋版



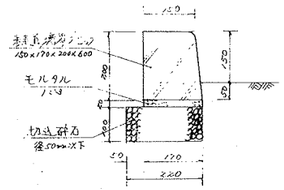
C型側溝 S=1/10



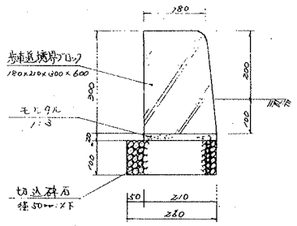
A型蓋版



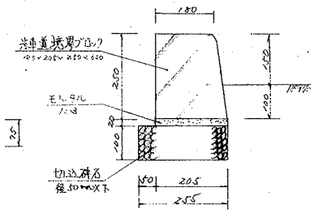
1号縁石 S=1/10



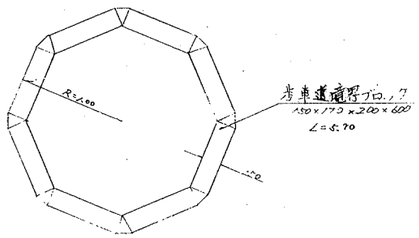
2号縁石 S=1/10

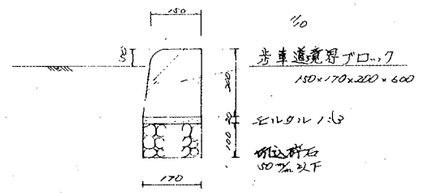


4号縁石 S=1/10

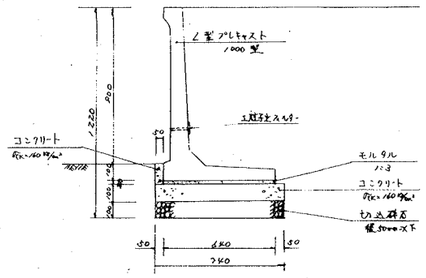


5号縁石 S=1/30

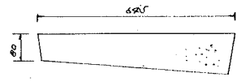




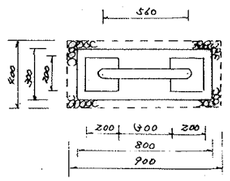
10号擁壁 S=1/20

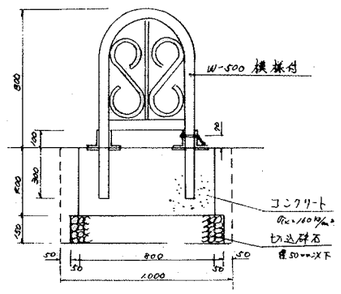


C型蓋版 S=1/10



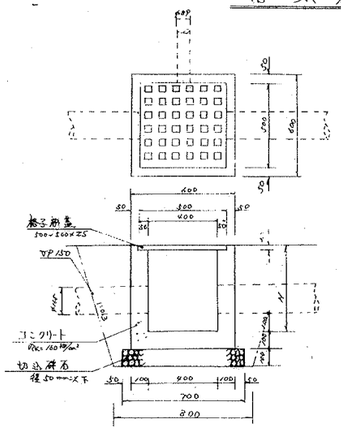
車止め S=1/20





外構図

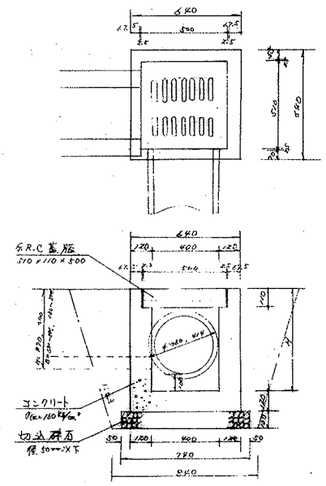
雨水桝 S=1/20



桝番	H
1号雨水桝	650
2号 〃	410
3号 〃	450
4号 〃	520
5号 〃	600
6号 〃	650
7号 〃	900

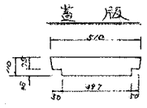
桝 / 数量	コンクリート	型枠損料	基礎砕石	格子桝蓋	掘削	埋戻	基面整正
1号	0.1 m³	1.7 m²	0.1 m³	1 枚	0.5 m³	0.19 m³	0.5 m²
2号	〃	1.9 m²	〃	〃	0.6 m³	0.4 m³	〃
3号	〃	2.1 m²	〃	〃	0.7 m³	〃	〃
4号	〃	2.4 m²	〃	〃	0.8 m³	0.5 m³	〃
5号	〃	2.7 m²	〃	〃	0.9 m³	0.6 m³	〃
6号	〃	2.6 m²	〃	〃	1.0 m³	0.7 m³	〃
7号	0.2 m³	3.0 m²	〃	〃	1.19 m³	0.9 m³	〃

集水桝 S=1/20



桝番	H
1号集水桝	560
2号 〃	500
3号 〃	620
4号 〃	620
5号 〃	500

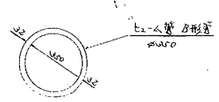
蓋版



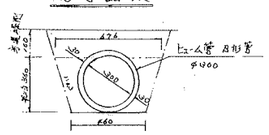
桝 / 数量	コンクリート	型枠損料	基礎砕石	蓋版	掘削	埋戻	基面整正
1号	0.1 m³	1.8 m²	0.1 m³	1 枚	0.8 m³	0.5 m³	0.5 m²
2号	〃	2.0 m²	〃	〃	〃	〃	〃
3号	〃	1.8 m²	〃	〃	1.1 m³	0.7 m³	〃
4号	〃	2.2 m²	〃	〃	〃	〃	〃
5号	〃	1.6 m²	〃	〃	0.8 m³	0.5 m³	〃

暗渠 S=1/20

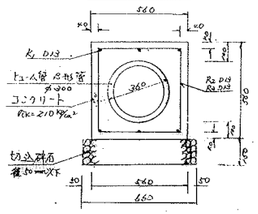
1号暗渠

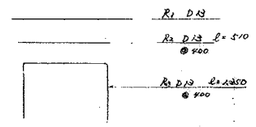


2号暗渠

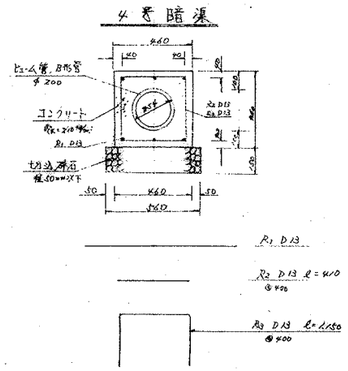


3号暗渠

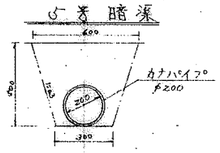




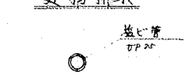
4号暗渠



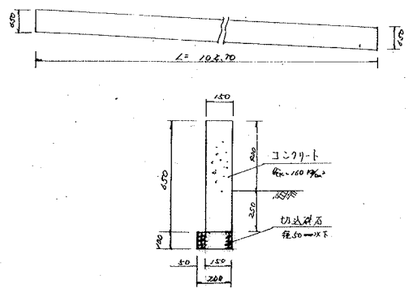
5号暗渠



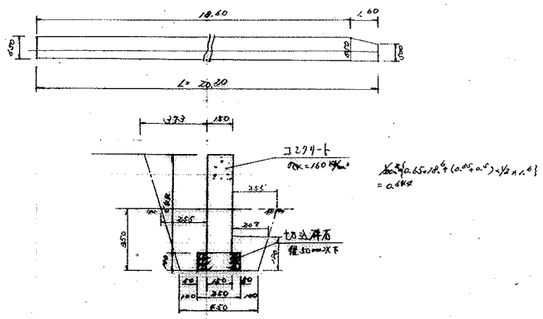
建物排水



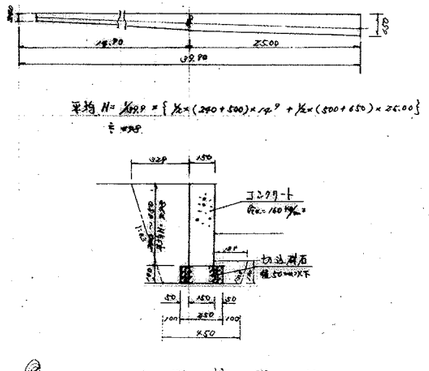
1型擁壁 S=1/20



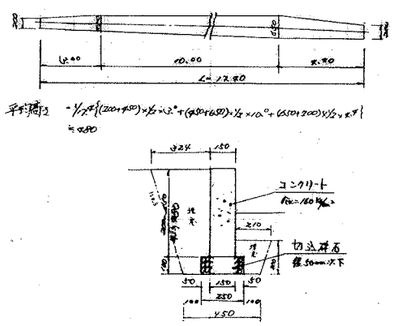
4型擁壁 S=1/20



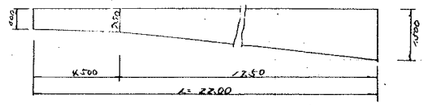
5型擁壁 S=1/20

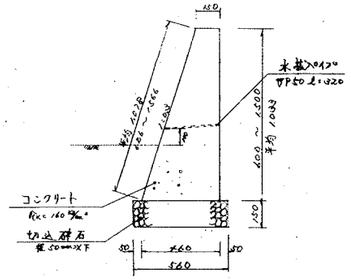


6型擁壁 S=1/20

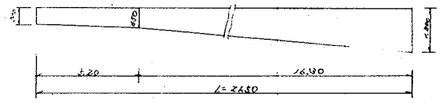


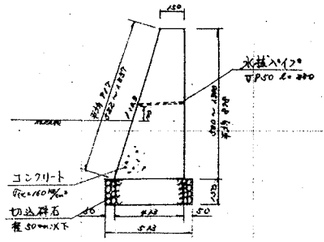
7型擁壁 S=1/20



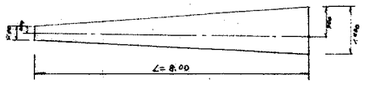


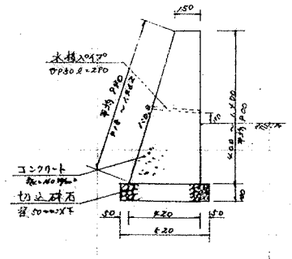
8型擁壁 S=1/20





9号擁壁 S=1/20





外構図